

第5次防府市男女共同参画推進計画 (防府ハーモニープラン21)

令和4年度事業実績

健康福祉部 社会福祉課

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目1 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大【防府市女性活躍推進計画】

施策① 行政におけるポジティブ・アクションの推進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
市の審議会等委員への女性の登用	女性委員のいない審議会等の解消を図るとともに、女性委員の割合の増加に努めます。	社会福祉課	①登用状況の調査・公表 防府市における女性委員の登用状況を調査し、公表する。	—	①登用状況の調査・公表 防府市における女性委員の登用状況を調査し、公表した。	—	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	②偏った審議会等の解消 女性委員の少ない審議会等の解消に努めるよう、関係課に積極的に働きかける。 また、女性の人材情報を収集整理し、情報提供する。	—	②偏った審議会等の解消 女性委員の少ない審議会等の解消に努めるよう、関係課に文書を送付した。（女性委員のいない審議会等：7）	—	B	推薦団体に女性がない団体があり、女性委員が登用できない場合がある。
〃	〃	地域振興課	①審議会等運営状況報告書の集計及び公開 審議会等の運営状況の報告を受け、集計結果を市HPで公開する。	—	①審議会等運営状況報告書の集計及び公開 審議会等の運営状況の報告を受け、集計結果を市HPで公開した。	—	B	継続して実施する。
〃	〃	地域振興課	②防府市参画及び協働の推進に関する協議会 審議会等の運営状況含む参画及び協働の推進に関する事項を調査及び審議する。	131	②防府市参画及び協働の推進に関する協議会 審議会等の運営状況含む参画及び協働の推進に関する事項を調査及び審議した。（令和4年度2回開催）	85	B	継続して実施する。
〃	〃	関係各課 （社会福祉課）	①審議会等における女性委員の積極的登用 防府市における女性委員の積極的な登用に努める。	—	①審議会等における女性委員の積極的登用 防府市における女性委員の積極的な登用に努めるため、各課に登用に関する依頼文書を送付した。 H30.4.1：29.5% H31.4.1：30.0% R2.4.1：30.7% R3.4.1：30.6% R4.4.1：30.1%	—	C	第5次計画の指標目標の35%には達していない。
市の計画的な人材育成と女性職員の管理職への登用	市職員の計画的な人材育成に努め、管理職への女性の登用を進めるとともに、職域の拡大を図ります。	人事課	①女性の管理職の登用 令和4年度の管理職の女性割合15%以上を目標に積極的に登用していく。	—	①女性管理職の登用 R4年度の管理職の女性割合15%以上を目標に積極的に登用する。 H31.4.1：15/86人（17.4%） →R2.4.1：15/87人（17.2%） →R3.4.1：14/82人（17.1%） →R4.4.1：16/89人（18.0%）	—	A	特になし。
〃	〃	人事課	②研修の実施 男女ともに働きやすく、活躍できる職場づくりのため『働きやすい職場づくり研修』を実施し、職員の意識改革、スキルの向上を図る。 受講者へのアンケート等により、研修成果、改善点を把握する。	193	②研修の実施 令和4年8月2日PM 課長級、課長補佐級職員25名を対象に研修を実施。	149	B	研修受講対象者（階層）に必要な研修内容となるよう、適宜見直す必要がある。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目1 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大【防府市女性活躍推進計画】

施策② 企業、団体等におけるポジティブ・アクションの促進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
役職・管理職等への女性の登用の促進	各企業、団体等に対し、役職・管理職等への女性の登用の必要性について啓発に努めます。	商工振興課	①国・県と連携し情報提供を行うパンフレット等を配布する。企業向けの情報発信に注力する防府市中小企業サポートセンターを活用する。	—	①国・県と連携し情報提供を行った企業向け情報発信に注力する防府市中小企業サポートセンターにおいて、パンフレット等を設置し情報提供を行った。	—	B	特になし。
〃	〃	農林漁港整備課	①役員等への女性の登用促進 土地改良区への女性登用の必要性の周知を図る。	—	①役員等への女性の登用促進 土地改良区への女性登用の必要性の周知を図る。	—	B	今後も継続して周知を図る必要がある。
〃	〃	農業委員会事務局	①農業委員への女性の登用促進	—	①農業委員への女性の登用促進 山口県農業委員会女性協議会が実施する農業委員会女性協議会ブロック研修会を実施した。 令和4年10月3日実施。 女性農業委員参加者2名	—	B	特になし
女性の能力開発の促進と適正な評価の確保	女性の活動を促進する事業等を推進するとともに、研修等への参加を促進し、女性の能力開発及び適正な評価の確保を支援します。	農林水産振興課	①県の研修会・農協女性部研修会・農山漁村女性のつどい等への参加促進 研修会等の紹介、参加を促進する。 (事業主体＝山口県、山口県農業協同組合防府とくち統括本部、農山漁村女性連携会議)	—	①県の研修会・農協女性部研修会・農山漁村女性のつどい等への参加促進 研修会等の紹介、参加を促進した。 (事業主体＝山口県、山口県農業協同組合防府とくち統括本部、農山漁村女性連携会議)	—	B	若い世代への参加促進が必要となる。
〃	〃	農林水産振興課	②農家生活改善士活動促進事業 研修会等の紹介、参加促進をする。 (事業主体＝山口県)	—	②農業生活改善士活動促進事業 研修会等の紹介、参加促進をした。 (事業主体＝山口県)	—	B	若い世代のリーダー育成として改善士活動が必要となる。
〃	〃	農林水産振興課	③研修への参加促進 各種研修会の情報提供をする。	—	③研修への参加促進 各種研修会の情報提供をした。	—	B	若い世代への参加促進が必要となる。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目1 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大【防府市女性活躍推進計画】

施策③ 地域、防災その他の分野への男女共同参画の促進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
地域活動における女性参画の拡大	地域活動における女性参画の拡大を図るとともに、代表者等への女性の登用を促進します。	社会福祉課 地域振興課	①地域の各組織・団体に女性の代表者の登用を促進する。 女性の意見が反映されるよう、各組織・団体の代表者等への女性の登用を促進する。	—	①地域の各組織・団体に女性の代表者の登用を促進した。 女性の意見が反映されるよう、各組織・団体の代表者等への女性の登用を促進した。 自治会長に占める女性の割合 R2.4.1： 9/254人（3.5%） R3.4.1： 8/255人（3.1%） R4.4.1： 7/255人（2.7%）	—	C	自治会長に占める女性の割合は、未だ少ない。
					民生・児童委員に占める女性の割合 R2.4.1：124/249人（49.7%） R3.4.1：125/249人（50.2%） R4.4.1：125/249人（50.2%）		B	特になし。
防災分野における女性の参画の促進	防災の分野において、男女双方の視点が反映されるように努めます。	防災危機管理課	①防府市地域防災計画への多様な意見の反映 防府市防災会議における女性委員の登用を推進することにより、防府市地域防災計画の見直し検討・修正の際に女性の意見が反映されるよう努める。 次期委員の推薦依頼の際に、女性の推薦をお願いするなど、女性委員の登用率を高めるようにする。	286	①防府市地域防災計画への多様な意見の反映 防府市防災会議における女性委員の登用を推進することにより、防府市地域防災計画の見直し検討・修正の際に女性の意見が反映されるよう努めた。	96	B	国、県や関係機関において推薦される役割に女性がほとんどおらず、女性委員登用率が低迷している。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目2 働く場における環境整備【防府市女性活躍推進計画】

施策① 女性のチャレンジ支援

<p>事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている</p>
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
働きたい女性への就業支援	働くことを希望する女性に対して、就業支援を行います。	商工振興課	①働きたい女性の就職支援 ライフステージの変化等により一旦は退職したものの、再就職し新たなキャリアを見つけたいと考える女性を対象とした学びなおしの場となるセミナーを開催する。 ハローワークや山口しごとセンターと連携した就職支援を行う。	3,500	①働きたい女性の就職支援 ライフステージの変化等により一旦は退職したものの、再就職し新たなキャリアを見つけたいと考える女性を対象とした学びなおしの場となるセミナーを開催する。 ハローワークや山口しごとセンターと連携した就職支援を行う。	3,498	B	相談者数を増やすため一層の周知が必要。
〃	〃	商工振興課	②就労相談事業 女性や高齢者が就労に関して気軽に相談できる専用の相談窓口を設置するとともに、セミナーや座談会等を実施し、本人の希望に寄り添った就職支援を行う。		②就労相談事業 女性や高齢者が就労に関して気軽に相談できる専用の相談窓口を設置するとともに、セミナーや座談会等を実施し、本人の希望に寄り添った就職支援を行う。			
〃	〃	商工振興課	③デジタル人材育成事業 テレワークでの就労も可能なデジタル技術の習得を支援することで、育児等による時間的制約を抱える女性の就労につなげる。	1,500	③デジタル人材育成事業 テレワークでの就労も可能なデジタル技術の習得を支援することで、育児等による時間的制約を抱える女性の就労につなげる。	1,473	B	受講者を増やすため募集期間を延ばす。
〃	〃	社会福祉課	①国・県と連携し情報提供を行う パンフレット等を配布する。	—	①国・県と連携し情報提供を行った 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、街頭での啓発活動は行えなかったが、関係各所にパンフレットを配布した。	—	B	特になし。
創業支援センターによる創業の支援	商工会議所と連携して、創業支援を行います。	商工振興課	①市制度融資による創業者への支援 市内で新たに事業を起こすための資金を融資する。	3,857	①市制度融資による創業者への支援 市内で新たに事業を起こすための資金を融資する。	3,168	B	創業に係る機運
〃	〃	商工振興課	②インキュベーションプログラムによる創業者支援 創業希望者及び創業者を対象に、事業安定期まできめ細やかな支援を行い、「創業するなら防府」の実現に向けて創業しやすい環境づくりを進めます。 創業支援は、防府商工会議所が設置する「防府市中小企業サポートセンター」で実施する。	27,190	②インキュベーションプログラムによる創業者支援 創業希望者及び創業者からの相談を年間471件実施した。また、経営力強化を支援する内容のセミナーを19回開催した。	20,296	B	特になし。
農林水産分野における起業等の支援	農林水産分野において、起業や法人化への支援に努めます。	農林水産振興課	①県との協働支援 農山漁村における女性グループ等が参加する「やまぐち農山漁村女性起業ネットワーク」が実施する会議や研修会への参加を促し、県と協働して情報提供・支援を行う。	—	①県との協働支援 農山漁村における女性グループ等が参加する「やまぐち農山漁村女性起業ネットワーク」が実施する会議や研修会への参加を促し、県と協働して情報提供・支援を行った。	—	B	今後も継続して周知を図る必要がある。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目Ⅱ 働く場における環境整備【防府市女性活躍推進計画】

施策① 女性のチャレンジ支援

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
女性職員の能力向上	「防府市特定事業主行動計画」に沿って、女性職員の活躍を推進します。	人事課	①女性の管理職の登用(再掲：I-1-①) 令和4年度の管理職の女性割合15%以上を目標に積極的に登用していく。	—	①女性管理職の登用(再掲：I-1-①) R4年度の管理職の女性割合15%以上を目標に積極的に登用する。 H31.4.1：15/86人（17.4%） →R2.4.1：15/87人（17.2%） →R3.4.1：14/82人（17.1%） →R4.4.1：16/89人（18.0%）	—	A	特になし。
女性職員の能力向上	「防府市特定事業主行動計画」に沿って、女性職員の活躍を推進します。	人事課	②研修の実施(再掲：I-1-①) 男女ともに働きやすく活躍できる職場づくりのため『働きやすい職場づくり研修』を実施し、職員の意識改革、スキルの向上を図る。 受講者へのアンケート等により、研修成果、改善点を把握する。	193	②研修の実施(再掲：I-1-①) 令和4年8月2日PM 課長級、課長補佐級職員25名を対象に研修を実施。	149	B	研修受講対象者（階層）に必要な研修内容となるよう、適宜見直す必要がある。
〃	〃	消防本部	①女子学生等への働きかけ 消防吏員に占める女性消防吏員の比率を引き上げるため、女子学生等を対象としたインターンシップ等を開催する。 財政部局に施設整備に関する予算措置を要望する。	—	①女子学生等への働きかけ R4.7.16 防府警察署・自衛隊山口地方協力本部山口募集案内所合同採用説明会 R4.11.9 高川学園進路説明会	—	B	女性職員を受け入れるだけの施設整備が十分に追いついていない。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目Ⅱ 働く場における環境整備【防府市女性活躍推進計画】

施策② 安心して働ける環境の整備

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
労働条件・雇用環境の整備の促進	男女の均等な雇用機会及び待遇の確保が図られるよう、関係法令の周知に努めます。	商工振興課	①国・県と連携し情報提供を行う（再掲Ⅰ-1-②） パンフレット等を配布する。 企業向けの情報発信に注力する防府市中小企業サポートセンターを活用する。	—	①国・県と連携し情報提供を行った（再掲Ⅰ-1-②） 企業向け情報発信に注力する防府市中小企業サポートセンターにおいて、パンフレット等を設置し情報提供を行った。	—	B	特になし。
〃	〃	商工振興課	②「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」 働きやすい職場づくりにおいて、一定の基準を満たす企業を認定する「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」に基づき、認定企業を創出するとともに、この取組を市内外に発信し、「働き方改革」に関する全市的な気運の醸成を図る。	1,500	②「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」 市内事業所に対し認定申請はなし。	0	C	新規申請のために制度周知を実施、認定更新を企業に依頼する。
〃	〃	人事課	①職員研修の実施 新規採用職員研修にて、雇用や賃金等の労働条件における男女平等の原則の周知を図る。 受講者へのアンケート等により、研修成果、改善点を把握する。	—	①職員研修の実施 新規採用職員前期・中期課程研修にて、令和4年度新規採用職員20人を対象に研修を実施。 人権教育や地方公務員制度、給与制度の講義の中で周知を図った。	—	B	特になし。
育児・介護休業制度の利用の促進	男女ともに、育児休業や介護休業等を取得しやすい環境づくりを促進します。	商工振興課	①国・県と連携し情報提供を行う（再掲Ⅰ-1-②） パンフレット等を配布する。 企業向けの情報発信に注力する防府市中小企業サポートセンターを活用する。	—	①国・県と連携し情報提供を行った（再掲Ⅰ-1-②） 企業向け情報発信に注力する防府市中小企業サポートセンターにおいて、パンフレット等を設置し情報提供を行った。	—	B	特になし。
〃	〃	商工振興課	②「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」（再掲：Ⅰ-2-②） 働きやすい職場づくりにおいて、一定の基準を満たす企業を認定する「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」に基づき、認定企業を創出するとともに、この取組を市内外に発信し、「働き方改革」に関する全市的な気運の醸成を図る。	1,500	②「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」 市内事業所に対し認定申請はなし。	0	C	新規申請のために制度周知を実施、認定更新を企業に依頼する。
〃	〃	人事課	①育児・介護休業の取得の促進 制度の周知に努める。	—	①育児・介護休業の取得促進 新規採用職員前期課程研修や、その他人事課実施の研修において、制度の周知に努めた。	—	B	男性の育児休業制度利用がまだ少ない。
ハラスメントの防止に関する啓発	ハラスメントの防止について啓発に努めるとともに、被害者の心のケアに取り組みます。	商工振興課	①国・県と連携し情報提供を行う（再掲Ⅰ-1-②） パンフレット等を配布する。 企業向けの情報発信に注力する防府市中小企業サポートセンターを活用する。	—	①国・県と連携し情報提供を行った（再掲Ⅰ-1-②） 企業向け情報発信に注力する防府市中小企業サポートセンターにおいて、パンフレット等を設置し情報提供を行った。	—	B	特になし。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目Ⅱ 働く場における環境整備【防府市女性活躍推進計画】

施策② 安心して働ける環境の整備

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
ハラスメントの防止に関する啓発	ハラスメントの防止について啓発に努めるとともに、被害者の心のケアに取り組みます。	商工振興課	②「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」（再掲：I-2-②） 働きやすい職場づくりにおいて、一定の基準を満たす企業を認定する「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」に基づき、認定企業を創出するとともに、この取組を市内外に発信し、「働き方改革」に関する全市的な気運の醸成を図る。	1,500	②「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」市内事業所に対し認定申請はなし。	0	C	新規申請のために制度周知を実施、認定更新を企業に依頼する。
〃	〃	人事課	①職員研修の実施 パワーハラスメント・セクシャルハラスメントをはじめとするハラスメント全般についての知識の習得及び理解を深めるため、『ハラスメント防止研修』を実施する。 受講者へのアンケート等により、研修成果、改善点を把握する。	—	①職員研修の実施 令和4年10月14日（金）AM 令和4年度課長補佐級以上昇任職員26人を対象に研修を実施した。	—	B	継続して取り組む問題であり、研修受講対象者に必要な研修内容となるよう、適宜見直す必要がある。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目2 働く場における環境整備【防府市女性活躍推進計画】

施策③ 職業能力の開発と能力発揮の場づくりへの支援

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
研修・訓練機会の情報提供	資格取得や技能習得による職業能力の向上と職域拡大に関する情報提供を行います。	商工振興課	①国・県と連携し情報提供を行うパンフレット等を配布する。効果的な情報提供となるよう、パンフレットの配布先を検討する。	—	①国・県と連携し情報提供を行う。必要な方に情報が行き届くよう、市役所内やハローワーク防府、防府職業訓練センター等においてパンフレット等を設置し情報提供を行った。	—	B	特になし。
再就職希望者・離職者に対する支援	再就職希望者への情報提供を行います。また、離職者への生活安定のための支援を行います。	商工振興課	①国・県と連携し情報提供を行うパンフレット等を配布する。効果的な情報提供となるよう、パンフレットの配布先を検討する。	—	①国・県と連携し情報提供を行う。必要な方に情報が行き届くよう、市役所内やハローワーク防府、防府職業訓練センター等においてパンフレット等を設置し情報提供を行った。	—	B	特になし。
〃	〃	商工振興課	②シルバー人材センターへの補助 シルバー人材センター運営費補助金を出す。	9,963	②シルバー人材センターへの補助 高齢化が進展する中、シルバー人材センターの担う役割はますます重要となるため、高齢者の就業機会の拡大、会員数の維持のため、事業運営への支援が必要である。	9,963	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	①離職者に対する住居確保給付金の支給 離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している、又は喪失する恐れのある者に対して、住居確保給付金を支給することにより、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行う。（3/4補助）	6,938	①離職者に対する住居確保給付金の支給 離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している、又は喪失する恐れのある者に対して、住居確保給付金を支給することにより、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行った。（3/4補助）	4,943	B	住居確保給付金の特例措置による申請が令和5年3月末で期限をむかえ、支援を受けられる対象者が限られるため、相談支援を充実させ、早期自立に向けた支援が必要。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目2 働く場における環境整備【防府市女性活躍推進計画】

施策④ 農林水産業・商工業等自営業における就業環境の整備

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
働きやすい環境整備の促進	労働日数や作業時間などの適正化の必要性や、家族経営協定について啓発を行い、働きやすい環境整備を促進します。	農林水産振興課	①家族経営協定の推進 県農林水産事務所、農家生活改善士、生活改善実行グループ連絡協議会が一体となり、研修会の開催、啓発活動、経済地位の向上に努める。	—	①家族経営協定の推進 県農林水産事務所、農家生活改善士、生活改善実行グループ連絡協議会が一体となり、研修会の開催、啓発活動、経済地位の向上に努めた。	—	B	今後も継続して周知を図る必要がある。
〃	〃	農林水産振興課	②休漁日の徹底 7月第3土曜日、11月第4土曜日 春（20日）・秋（2週間）の底曳き網漁業の休漁期	—	②休漁日の徹底 日曜日、7月第3土曜日、11月第4土曜日 春（20日）・秋（2週間）の底曳き網漁業の休漁期	—	B	今後も継続して周知を図る必要がある。
〃	〃	農林水産振興課	③山口農林統計年表の資料の充実と支援 漁協女性部会及び各イベントを通じて情報提供する。	—	③山口農林統計年表の資料の充実と支援 漁協女性部会を通じて情報提供した。	—	B	今後も継続して周知を図る必要がある。
〃	〃	商工振興課	①国・県と連携し情報提供を行う（再掲Ⅰ-1-②） パンフレット等を配布する。 企業向けの情報発信に注力する防府市中小企業サポートセンターを活用する。	—	①国・県と連携し情報提供を行う 必要な方に情報が行き届くよう、市役所内やハローワーク防府、防府職業訓練センター等においてパンフレット等を設置し情報提供を行った。	—	B	特になし。
〃	〃	商工振興課	②「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」（再掲：Ⅰ-2-②） 働きやすい職場づくりにおいて、一定の基準を満たす企業を認定する「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」に基づき、認定企業を創出するとともに、この取組を市内外に発信し、「働き方改革」に関する全市民的な気運の醸成を図る。	1,500	②「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」（再掲：Ⅰ-2-②） 市内事業所に対し認定申請はなし。	0	C	新規申請のために制度周知を実施、認定更新を企業に依頼する。
生産技術・管理能力の向上	生産技術・管理能力の向上や技術習得のため、研修会や交流事業への参加を促進します。	農林水産振興課	①認定農業者制度 認定促進及び経営改善支援を実施する。	—	①認定農業者制度 認定促進及び経営改善支援を実施した。 新規認定農業者数：9人	—	B	今後も継続して周知を図る必要がある。
〃	〃	農林水産振興課	②生活改善実行グループ連絡協議会の支援 意見・技術交換会、交流会を実施し、農山漁村の知識や技術の習得及び普及を図る。	180	②生活改善実行グループ連絡協議会の支援 意見・技術交換会、交流会を実施し、農山漁村の知識や技術の習得及び普及を図った。 研修会：7/7、2/15 料理教室：12/10 実施	60	B	地産地消事業を中心とした活動が行われており、今後も継続する必要がある。
〃	〃	農業委員会事務局	①農業者年金業務委託事業 女性農業委員等を対象に加入推進特別研修を実施する。 （事業主体：山口県農業会議）	—	①農業者年金業務委託事業 女性農業委員等を対象に加入推進特別研修を実施した。 令和4年7月6日実施。 女性農業委員参加者2名。	-	B	特になし。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目2 働く場における環境整備【防府市女性活躍推進計画】

施策④ 農林水産業・商工業等自営業における就業環境の整備

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
融資制度等の充実	設備投資等への融資制度等を充実させ、利用促進を図ります。	農林水産振興課	①農業近代化資金等利子補給事業 農業の振興・経営の安定化を図る。	369	①農業近代化資金等利子補給事業 農業の振興・経営の安定化を図る。 新規就農：7件 経営基盤強化：4件	212	B	今後も継続して周知を図る必要がある。
〃	〃	農林水産振興課	②漁業近代化資金等利子補給事業 漁業の振興・経営の安定化を図る。	117	②漁業近代化資金等利子補給事業 漁業の振興・経営の安定化を図った。	20	B	今後も継続して周知を図る必要がある。
〃	〃	農林水産振興課	③新規漁業就業者生活・生産基盤整備事業 新規漁業就業者の経営開始に必要な生産基盤の整備に係る支援をする。	2,000	③新規漁業就業者生活・生産基盤整備事業 新規漁業就業者の経営開始に必要な生産基盤の整備に係る支援をおこなった。	0	B	今後も継続して周知を図る必要がある。
〃	〃	商工振興課	①取引金融機関に市制度融資の活用の働きかけ 市、防府商工会議所が主催する研修会等の中で、取引金融機関に市融資制度の活用を働きかける。	—	①取引金融機関に市制度融資の活用の働きかけ 商工会議所の会報による周知の実施	—	B	特になし。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進【防府市女性活躍推進計画】

施策① 多様なライフスタイルに対応する子育て支援の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
保育サービスの充実	多様化するニーズに対応するため、児童の放課後の保育など、各種保育サービスの充実に努めます。	子育て支援課	①留守家庭児童学級運営事業 小学1年生から6年生までの児童への放課後の安全な遊び場や生活の場を提供する。 待機児童の発生している地域の学級を1学級増設する。	272,363	①留守家庭児童学級運営事業 小学校の授業終了後に、家庭で保育ができない児童の保育を行った。 R4.5.1現在児童数 留守家庭児童学級数30か所 1,204人	250,738	B	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童の解消 配慮を要する児童への対応 支援員の確保 支援員の資質向上 保育時間の延長
〃	〃	子育て支援課	②子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライト事業） 家庭において児童の養育が一時的に困難となった場合や保護者が仕事等の理由で不在の場合に、児童を一定期間児童養護施設等で預かる。	752	②子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライト事業） 家庭において児童の養育が一時的に困難となった場合や保護者が仕事等の理由で不在の場合に、児童を一定期間児童養護施設等で預かりを実施した。 ショートステイ 実17人（延べ44日） トワイライトステイ 実1人（夜間0日、宿泊0日、休日1日） （PR活動） ・ホームページ掲載 ・市広報掲載（年1回）	315	B	必要時の施設の確保。
〃	〃	子育て支援課	③ファミリーサポートセンター事業 子どもの預かり等の援助を受けたい者と、援助を行いたい者を組織化し、会員同士が子どもの世話を一時的に有料で援助しあう。	9,695	③ファミリーサポートセンター事業 子どもの預かり等の援助を受けたい者と、援助を行いたい者を組織化し、会員同士が子どもの世話を一時的に有料で援助しあう。	8,708	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課	④特別保育事業等 仕事と家庭の両立が行われるよう保育環境を整備する。	153,737	④特別保育事業等 病児保育事業や延長保育、一時預かり事業などの特別保育事業を行い、仕事と家庭の両立が行われるよう保育環境を整備した。 （PR活動）ホームページ及び市広報（年2回）で事業を紹介 （利用実績）病児保育事業 延べ利用児童数 638人 一時預かり事業 延べ利用児童数 2268人	110,765	B	特になし。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進【防府市女性活躍推進計画】

施策① 多様なライフスタイルに対応する子育て支援の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
保育サービスの充実	多様化するニーズに対応するため、児童の放課後の保育など、各種保育サービスの充実に努めます。	社会福祉課	①留守家庭児童学級運営事業 留守家庭児童クラブ事業の充実（小学1年生から6年生までの留守家庭児童：宮市・右田・牟礼・玉祖福祉センター）平日・土曜日・夏休み等に実施する。	37,048	①留守家庭児童学級運営事業 児童クラブ利用人数 133名 延長保育利用人数 125名 （4館合計 令和4年8月時点）	31,030	B	支援員並びに補助員の確保が必要。
子育てに関する活動の支援	各地域における子育てに関するグループ活動などを支援し、人々の交流を促進します。	子育て支援課	①母親クラブ活動費補助事業 連絡協議会として各支部と協力して活動を推進する。	1,050	①母親クラブ活動費補助事業 連絡協議会として各支部と協力して活動を行った。 （組織）6クラブ、122名 （活動） 親子の交流・文化活動（親子工作、クリスマスツリー製作、苔テラリウム作り、生花アレンジメントプレスレッド製作等） 児童養育委に関する研修活動（教育講演会等） 児童の事故防止のための奉仕活動（公園の遊具の点検、交通立哨等）	900	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課	②子育て支援活動費補助事業 市内で子育て支援活動をしている団体に対してその活動費を補助する。	1,000	②子育て支援活動費補助事業 市内で子育て支援活動をしている団体に対してその活動費を補助した。 交付団体数：5件	221	B	特になし。
〃	〃	健康増進課	①子育てサークル支援事業 防府市母子保健推進協議会への委託事業。 親子の交流の場となる乳幼児の子育てサークルを各地域で開催する。	345	①子育てサークル支援事業 14地区（1地区1～4回）、合計44回開催した。（参加者数：延 親410人、子454人） 新型コロナ感染対策をしながら全地区で実施できた。子ども会と合同で開催したり、土曜日や日曜日に開催する等多くの地区の人と交流できるよう工夫した。	354	B	親子が地域で交流することにより、安心して孤立せず育児ができるよう、多くの親子に参加してもらえよう地区毎に方法を検討していく必要がある。
〃	〃	健康増進課	②子育てサークル全体交流会 防府市母子保健推進協議会への委託事業。 市内の全未就園児を対象にした交流会（わいわいHOFUっ子の集い・親子遊び）を関係諸団体と連携し、実施する。	130	②子育てサークル全体交流会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず。	0	B	子育て中の親子が孤立しないよう、感染対策に配慮した実施方法の検討が必要である。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進【防府市女性活躍推進計画】

施策① 多様なライフスタイルに対応する子育て支援の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
子育てに関する相談・支援体制の充実	子育てに関する相談に対応するため、専門員を配置するとともに、各関係機関、団体との連携を強化し、支援体制の充実に努めます。また、「子育て世代包括支援センター」において、妊娠から子育て期にわたる相談対応、関係機関との連携等、切れ目のない支援を行います。	子育て支援課	①利用者支援事業 情報提供・相談・利用支援をする。	2,602	①利用者支援事業 窓口において、情報提供・相談・利用支援を行った。	2,408	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課	②こども相談室の相談体制の整備 保健師及び保育士、こども家庭相談員を配置し、児童虐待を含む家庭児童相談に応じる。 こども相談室の機能強化をするため、こども家庭相談総合拠点の整備を行う。	11,000	②こども相談室の相談体制の整備 保健師および社会福祉主事、こども家庭相談員（精神保健福祉士、社会福祉士等）を配置し、児童虐待を含む家庭児童相談に応じた。 （相談件数）実数441人	9,996	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課	③母子・父子自立支援員の設置 ひとり親家庭等を対象に自立に必要な情報提供、相談指導等を行うとともに、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行う。	3,341	③母子・父子自立支援員の設置 窓口及び電話により、自立に向けての情報提供、相談指導を行った。 相談件数 1,273件	3,000	B	特になし。
〃	〃	健康増進課	①子育て世代包括支援センターでの相談 保健師、助産師を配置し、妊娠から出産、乳幼児期を中心に子育て期に心配なことや困っていること等の相談を電話、来所、メール等で行う。また、子育てを支援する機関の連携体制を整備する。	7,190	①子育て世代包括支援センターでの相談 保健師、助産師を配置し、妊娠から出産、乳幼児期を中心に子育て期に心配なことや困っていること等の相談を電話、来所、メール等で行った。（相談件数1,497件）	7,514	B	相談件数が増加しているため、相談が重なることが多々ある。個々での相談対応が求められるが部屋が足りないため、部屋の確保を検討していく必要がある。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進【防府市女性活躍推進計画】

施策① 多様なライフスタイルに対応する子育て支援の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
子育てに関する相談・支援体制の充実	子育てに関する相談に対応するため、専門員を配置するとともに、各関係機関、団体との連携を強化し、支援体制の充実に努めます。また、「子育て世代包括支援センター」において、妊娠から子育て期にわたる相談対応、関係機関との連携等、切れ目のない支援を行います。	健康増進課	②乳幼児相談 乳幼児を対象に保健センターにて実施する。乳幼児相談にあわせて、偶数月に「お母さんの健康チェック」、奇数月には歯科衛生士による母子の歯の相談と健康教育を実施する。	2,294	②乳幼児相談 乳幼児期の個々の相談に対応できるよう、助産師・栄養士・保健師・保育士・歯科衛生士による乳幼児相談を実施した。（年34回、延916人参加） お母さんの健康チェックは、コーナーを設け、参加者が待ち時間等に生活習慣を振り返ることができるよう工夫をした。	1,894	B	コロナ禍により、感染対策をすることで、会場内で保護者同士の交流の機会が持ちにくくなっている。
〃	〃	健康増進課	③ゆっくり子育て学び塾（幼児編） 子育てについて悩みや不安を持っている親同士が、直接話し合う機会を提供する。関心の高いテーマの講座に絞り実施する。また、事業評価の強化をするために、フォローアップ教室を開催する。	257	③ゆっくり子育て学び塾（幼児編） 子どもとのコミュニケーションの回り方について、親同士と一緒に学ぶ場を提供した。託児を設けているため、安心して受講できる場となった。（6回 46人）	238	B	参加者数が減っており、内容を検討する必要がある。
〃	〃	健康増進課	④ミニ離乳食教室 今から離乳食を始める保護者を対象に離乳食の基礎知識の講話や調理の実演を交えた教室を開催する。 受講者が超過した場合は、内容を短縮したものを事業終了後同日に実施する。	-	④ミニ離乳食教室 離乳食の進め方や形態を知ることができるよう、乳幼児相談に併せて毎月実施。（年12回、138組参加）	-	B	特になし。
〃	〃	健康増進課	⑤関係機関と連携した対応 関係機関との連携体制を常時構築し、必要な時は連携し合い、迅速な対応をする。	-	⑤関係機関と連携した対応 子育て世代包括ネットワーク会議を1回開催し、妊娠期から子育て期における課題を共有し、連携強化に努めた。また、子育て支援センターとの情報交換会を実施し、コロナ禍における親子の交流方法等意見交換をおこなった。	-	B	特になし。
〃	〃	学校教育課	①問題対策協議会の実施 問題解決を図るために、関係機関と連携し適切に対応する。 年2回、定例会を実施し、状況に応じてサポート会議を召集する。	165	①問題対策協議会の実施 2回目の定例会は実施しなかった（コロナウイルス感染症対策のため）	53	B	2回目の定例会の必要性が低く旅費等をサポート会議の費用を充てたい。 定例会1回＋サポート会議（適宜）

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進【防府市女性活躍推進計画】

施策① 多様なライフスタイルに対応する子育て支援の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
子育てに関する相談・支援体制の充実	子育てに関する相談に対応するため、専門員を配置するとともに、各関係機関、団体との連携を強化し、支援体制の充実に努めます。また、「子育て世代包括支援センター」において、妊娠から子育て期にわたる相談対応、関係機関との連携等、切れ目のない支援を行います。	生涯学習課	①家庭教育アドバイザーの養成と活用 県が主催する家庭教育アドバイザー養成講座への参加を促し、その修了者を活用することにより、家庭教育並びに子育て支援の充実にを図る。	-	①家庭教育アドバイザーの養成と活用 ・県が主催する家庭教育アドバイザー養成講座への参加を促した。 参加人数（養成講座：3人、ステップアップ講座：3人） ・家庭教育関係者情報交換会において、家庭教育アドバイザー養成講座修了者を活用した研修を行った。（養成講座修了者からは7人の参加）	-	C	家庭教育アドバイザーの活用が不十分である。
〃	〃	社会福祉課	①民生委員児童委員関係事業 民生委員児童委員の各部会（高齢者福祉部会、障害者福祉部会、児童福祉部会）が行う研修会（各部会年1回以上）の開催を支援する。	60	①民生委員児童委員関係事業 民生委員児童委員の各部会研修会は、コロナ禍のため、中止となりました。民生委員活動に活用できるように各部会ごとに部会に関する資料や冊子などの配布をする支援をしました。	60	B	民生委員・児童委員協議会の各部会による主体的な運営が継続できるよう、引き続き地域の活動の中での問題点、改善点など様々な状況を把握し、支援していく必要がある。
経済的支援制度の充実	保護者の経済的負担の軽減を図るため、助成や貸付制度等の充実に努めます。	子育て支援課	①多子世帯保育料等軽減事業 第3子以降の保育料を軽減する。	4,200	①多子世帯保育料等軽減事業 第3子以降の保育料等を軽減した。 （対象児童数） ・保育料 保育所等（施設型給付事業）196名 民間保育サービス施設 15名 ・副食費 保育所等（施設型給付事業）38名	2,054	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課	②乳幼児医療費助成制度 小学校就学前乳幼児を対象に医療費の自己負担分を助成する。	251,668	②乳幼児医療費助成制度 乳幼児医療費の助成を行った。 （受給者数：R5.3.31現在） 県制度対象者 3,695人 市制度対象者 2,248人	201,961	B	特になし。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進【防府市女性活躍推進計画】

施策① 多様なライフスタイルに対応する子育て支援の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
経済的支援制度の充実	保護者の経済的負担の軽減を図るため、助成や貸付制度等の充実に努めます。	子育て支援課	③児童手当制度 中学校修了前の児童を養育する人を対象に手当を支給する。 ・3歳未満 一律月額15,000円 ・3歳以上小学校修了前 月額10,000円（第3子以降は15,000円） ・中学生 一律月額10,000円 ・所得制限以上の人は特例給付として一律月額5,000円	1,819,000	③児童手当制度 児童手当を支給した。 （PR活動） 市民課窓口での案内、市広報、ホームページ電算システム活用による受給漏れ防止 受給者数7,716人 児童数13,372人	1,764,125	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課	④子ども医療費助成制度 小学生の医療費の自己負担分を助成する。	190,706	④子ども医療費助成制度 子ども医療費の助成を行った。 （受給者数R5.3.31現在） 市制度対象者 4,782人	175,592	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課	⑤多子世帯応援給付金支給事業 第3子以降の子どもの出生時、小学校・中学校入学時に商品券を贈る。 現制度の周知と共に、より一層の子育て支援、少子化対策及び定住促進となるよう制度の見直しを検討する。	34,000	⑤多子世帯応援給付金支給事業 多子世帯子育て支援商品券を交付した。 出生 163人 小学生 164人 中学生 150人 合計 32,000千円	34,514	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課	⑥実費徴収に係る補足給付を行う事業 支給認定保護者が支払うべき日用品、文房具、行事への参加費用等を助成する。	90	⑥実費徴収に係る補足給付を行う事業 支給認定保護者が支払うべき日用品、文房具、行事への参加費用等を助成した。	8	B	特になし。
〃	〃	教育総務課	①奨学資金貸付制度 ・経済的な理由により、大学又は修業年限2年以上の専修学校の専門課程での修学が困難な方に対し、奨学金を貸し付ける。（毎年度20人以内） ・経済的な理由により、高等学校又は高等専門学校への入学が困難な者の保護者に対し、高等学校入学準備金を貸し付ける。	基金で運用	①奨学資金貸付制度 ・奨学金 新規貸付決定者：10人 ・高等学校入学準備金 貸付者：11人 奨学金については、令和5年度奨学生募集に向けて市内高等学校3年生全員及び市内新成人にちらしを配布し、制度の周知を図った。 高等学校入学準備金については、市内中学校3年生全員にちらしを配布し、制度の周知を図った。	奨学金 15,060 準備金 725 （貸付額）	B	市外学校への通学者や大学等の在学生への周知について課題がある。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進【防府市女性活躍推進計画】

施策① 多様なライフスタイルに対応する子育て支援の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
経済的支援制度の充実	保護者の経済的負担の軽減を図るため、助成や貸付制度等の充実に努めます。	学校教育課	①幼児施設利用支援事業 幼稚園就園に係る費用の保護者の負担軽減を図る。	498	①幼児施設利用支援事業 幼稚園就園に係る費用の保護者の負担軽減を図った。	51	B	特になし。
//	//	学校教育課	②小・中学校児童生徒就学援助費交付事業 経済的理由によって、就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し必要な援助を与え、義務教育の円滑な実施に資する。	182,143	②小・中学校児童生徒就学援助費交付事業 経済的理由によって、就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し必要な援助を与え、義務教育の円滑な実施した。 認定件数：1,410件	119,111	B	特になし。
障害児福祉サービスの充実	障害児福祉サービスの充実に努めます。	障害福祉課	①障害児施設支援 障害児の施設通所サービス（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援）により、療育の必要な児童及びその保護者への支援の充実に図る。	737,935	①障害児施設支援給付事業 障害児の施設通所サービス（児童発達支援・放課後等デイサービス、保育所等訪問支援）の費用及び計画書の作成やモニタリングの費用について給付した。	648,255	B	特になし。
介護に関する情報の提供	介護者の負担軽減を図るため、介護に関する情報提供等を行います。	障害福祉課	①障害のある人を対象とした情報の提供「障害者福祉の概要」や市内の障害福祉事業所を紹介する「防府市資源マップ」を窓口で配布する。 市広報やホームページに各種情報を掲載する。	-	①「障害者福祉の概要」の作成、配布 障害者手帳の新規交付時に窓口で配布した。 ・「防府市資源マップ」の作成 市内の福祉事業所を紹介する冊子を作成、配布した。 ・市広報へ掲載した。（随時） 新規手帳交付数：430人 冊子作成部数：300冊	-	B	特になし。
//	//	高齢福祉課	①資料の配布 窓口や公民館等での「介護サービスブック」を配布する。	902	①資料の配布 窓口や公民館等での「介護サービスブック」を配布した。	718	B	制度や事業の内容変更が頻繁にあり、パンフレット等の即時対応が難しい。
//	//	高齢福祉課	②市広報・ホームページへの掲載 各種情報（認定・給付・在宅福祉サービス等）を掲載する。	-	②市広報・ホームページへの掲載 市広報・ホームページに各種情報（認定・給付・在宅福祉サービス等）を掲載した。	-	B	ホームページについては、情報量が多いため、より見やすく改善する必要がある。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進【防府市女性活躍推進計画】

施策② 男女が共に担う家庭生活の促進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
男性の家庭生活への参画の促進	家事・育児への男性参加を促進するため、各種講座等を開催します。	社会福祉課	①啓発講座の開催 家事・育児への男性の参画を促進するため、父と子の料理教室を開催する。 他市の講座等も参考に魅力ある講座を実施する。	51	①啓発講座の開催 ・第1回「家事ラク講座」参加者15人 講師 整理収納アドバイザー 牧野 久美氏 ・第2回 明治安田生命相互保険会社 包括連携協定 「女性活躍セミナー」 講師 明治安田生命相互保険会社 徳山支社 チーフ・コンシェルジェ 重田 千佳子氏 参加者 28人 ・第3「父と子の料理教室」参加者5組11人 講師 管理栄養士 生野 美輪氏 ・第4回「生涯学習フェスティバル」 パネル展示と啓発グッズの配布 ・第5回「父と子の料理教室」参加者4組9人 講師 管理栄養士 生野 美輪氏	23	B	「料理教室」だけでなく、男性の家庭参画を促進するための講座を検討する。
〃	〃	社会福祉課	②「イクメン・イクジイ・カジダン」フォトコンテストの開催 幅広い世代の男性に育児や家事への参画の意識啓発を図る。 啓発活動を積極的に行い、応募数及び投票数の増加を図る。	63	②「イクメン・イクジイ・カジダン」 フォトコンテストの開催 幅広い世代の男性に育児や家事への参画の意識啓発を図った。 作品応募数：51点 投票数：509票	56	B	より簡単にフォトコンテストに応募しやすいよう、Logoフォームを利用して応募できるようにする。
〃	〃	健康増進課	①男性の料理教室の開催 各地域で男性を対象とした料理教室の開催を予定している。	-	①男性の料理教室の開催 食生活改善推進地域活動として、男性を対象とした料理教室の開催（1地区：7人参加）	-	C	各地区で開催する料理教室では、男女ともに参加しやすい工夫が必要である。
親子交流の機会の提供	親子で参加できる遊びや交流の機会を提供します。	子育て支援課	①地域子育て支援センター事業 園庭開放により、未就園児親子に相互交流の場を提供する。 子育て及び子育て支援に関する講習等を実施する。	53,018	①地域子育て支援センター事業 園庭開放や子育て支援に関する講習等を各支援センターにて実施した。 （開設） センター型 2か所（きんこう、西佐波保育園） ひろば型 6か所（小野、東牟礼、右田、牟礼、きんこう第2、新田） （延べ利用者数）15682人	53,039	B	特になし。
〃	〃	生涯学習課	①「家庭の日」親子ふれあいイベントの実施	362	①「家庭の日」親子ふれあいイベントの実施 「家庭の日」親子ふれあいイベントを実施した。 （実施回数：6回、参加延べ人数：231人）※7回実施予定のところ、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回は中止。	256	B	イベント内容を充実させるとともに、参加者を増やすための周知が必要である。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進【防府市女性活躍推進計画】

施策② 男女が共に担う家庭生活の促進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
子育てに関する学習 機会の提供	これから親になる人や子育て中 の親を対象とした学習機会を提 供します。	健康増進課	①両親学級の実施 妊婦とそのパートナーを対象として妊娠中から 子育てに向けての心構えや知識を学ぶ教室を開催 する。 保健師、助産師、栄養士による講話、赤ちゃん 人形や妊婦ジャケット着用等を体験する。	69	①両親学級の実施 保健師・助産師・栄養士による講話と、赤ちゃん 人形による体験を実施。（年5回、77組） コロナ感染予防のため、人数制限をして開催し た。定員を越した場合は、必要に応じて個別によ る対応を行った。	61	B	定員を越した場 合は、個別に対応す るなどの対応をしてい る。希望者に対応で きる方法を検討して いく必要がある。
〃	〃	生涯学習課	①子育て講座の実施 就学期子育て講座を実施する。（就学期を迎え た保護者を対象） 思春期子育て講座を実施する。（保護者及び生 徒を対象）	194	①子育て講座の実施 就学期子育て講座を市内15校の小学校で実施 した。（就学期を迎えた保護者を対象） 思春期子育て講座を市内9校の中学校で実施し た。（生徒、中学生の子を持つ保護者、教職員、 地域の人等を対象）	90	B	思春期子育て講座の 開催のない学校があ る。
〃	〃	生涯学習課	②家庭教育学級の実施 親子参加による講演会を実施する。 子育て講演会を実施する。	—	②家庭教育学級の実施 親子参加による講演会を実施した。 子育て講演会を実施した。 （開催） 全公民館で125回実施 （参加者） 延べ1,604人	—	B	コロナの収束によ り、開催回数、参加 者は前年に比べ増加 したが、参加者の確 保が困難となってい る。
〃	〃	生涯学習課	③家庭教育の本等の貸出し	—	③家庭教育の本等の貸出し 家庭教育の本・ビデオ・DVDの無料貸出を行 い、市のホームページにも貸出一覧を掲載した。	—	B	利用者が少ない。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進【防府市女性活躍推進計画】

施策③ 地域社会への男女共同参画の促進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
地域活動等における男女共同参画の促進	仕事優先の意識やライフスタイルを見直し、男女の地域活動等への参画を促進します。	関係各課 (地域振興課)	①地域のイベントへの参加の促進 各種イベント・地域行事等への参加を促進する。	-	①地域のイベントへの参加の促進 自治会広報に地域活動を紹介した。	-	B	特になし。
市民活動への支援	ボランティアに関する講座を開催するとともに、活動団体や市民への情報提供を行い、市民活動を支援します。	地域振興課	①「市民活動支援センター」における市民活動団体の支援 (1) 市民活動支援センター登録団体の育成・支援 (2) 他団体との交流事業の企画・実施 (3) まちづくり講座及び人材・団体養成講座の開催 (4) 市民活動に関する情報発信 「市民活動支援センター」におけるボランティアマッチング制度の活用をする。	18,893	①「市民活動支援センター」における市民活動団体の支援 (1) 市民活動支援センター登録団体の育成・支援 (2) 他団体との交流事業の企画・実施 (3) まちづくり講座及び人材・団体養成講座の開催 (4) 市民活動に関する情報発信 「市民活動支援センター」におけるボランティアマッチング制度の活用をした。	16,077	B	登録団体の女性活躍推進の支援。
〃	〃	農林水産振興課	①農山漁村女性連携会議への参画 農山漁村女性グループの学習及び交流の場となる、農山漁村女性のつどいを主催する農山漁村女性連携会議に参画し、運営等の支援や関係団体の参加を促す。 農山漁村の女性が相互の連携を密にし、課題解決の展開地位向上・社会参加を促進する。 (事業主体＝山口県、農山漁村女性連携会議)	-	①農山漁村女性連携会議への参画 農山漁村女性グループの学習及び交流の場となる、農山漁村女性のつどいを主催する農山漁村女性連携会議に参画し、運営等の支援や関係団体の参加を促した。 農山漁村の女性が相互の連携を密にし、課題解決の展開地位向上・社会参加を促進した。 (事業主体＝山口県、農山漁村女性連携会議)	-	B	若い世代への参加促進が必要となる。
〃	〃	農林水産振興課	②生活改善実行グループ連絡協議会の支援(再掲Ⅰ-②-④) 健康で住みよい農山漁村生活を目指すと同時に、農山漁村女性の社会参画の促進と地位向上を図る。 (事業主体＝防府市生活改善実行グループ連絡協議会)	180	②生活改善実行グループ連絡協議会の支援支援(再掲Ⅰ-②-④) 健康で住みよい農山漁村生活を目指すと同時に、農山漁村女性の社会参画の促進と地位向上を図った。 (事業主体＝防府市生活改善実行グループ連絡協議会)	60	B	地産地消を中心とした活動が行われており、今後も継続する必要がある。
〃	〃	農林漁港整備課	③森林整備を行うボランティア団体への支援 佐波川流域におけるボランティアの支援、育成をする。	300	③森林整備を行うボランティア団体への支援 佐波川流域におけるボランティアの支援、育成をする。	300	B	参加者が固定されている。

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進【防府市女性活躍推進計画】

施策③ 地域社会への男女共同参画の促進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている
--

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
市民活動への支援	ボランティアに関する講座を開催するとともに、活動団体や市民への情報提供を行い、市民活動を支援します。	生涯学習課	①放課後子ども教室の実施 地域の参画を得て、子ども達と学習やスポーツ・文化活動等の取組を実施する。	7,391	①放課後子ども教室の実施 新型コロナウイルス感染症感染防止対策を行ったうえで実施し、昨年度から大きく開催回数を増やすことができた。 市内13小学校区で放課後子ども教室を実施。各教室年間10日～30日程度で学習活動と体験活動を中心に実施。 市内放課後子ども教室への参加児童数（約5,000人）。	3,568	B	コーディネーター等の人材を育成し、内容を充実させる。
〃	〃	生涯学習課	②青少年ボランティア養成講座の開催	—	②青少年ボランティア養成講座の開催 「家庭の日」親子ふれあいイベントにおいて、高校生等を対象に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策に伴う人数制限のため、募集を中止した。	—	新型コロナウイルス感染症感染防止対策により募集を中止	開催形態を見直すとともに、参加者を増やすための周知が必要である。
〃	〃	生涯学習課	③生涯学習ボランティア養成講座の開催 放課後子ども教室、留守家庭児童学級等、子どもと関わるボランティア活動の指導者を養成するため講座を開催する。	20	③生涯学習ボランティア養成講座の開催 ほうふ幸せます人材バンクに登録されている方（団体）に講師を依頼し、放課後子ども教室等の子どもと関わるボランティア活動の指導者を主な対象として生涯学習ボランティア養成講座を開催した。 （開催回数：2回、参加人数：31人）	9	B	開催時期や内容を見直すとともに、参加者を増やすための周知が必要である。
子育てにやさしい環境づくりの推進	子育て中の人々が利用しやすい公共施設整備の整備を推進します。	子育て支援課	①赤ちゃんの駅の整備 乳幼児を抱える保護者が外出中に授乳やオムツ替えを行うことができる赤ちゃんの駅の登録促進を図り、子育てにやさしい街づくりを推進する。 また、各種イベント時に「移動式赤ちゃんの駅」の貸し出しを促進し、乳幼児を抱える保護者が安心してイベント等に参加できるよう整備する。	—	①赤ちゃんの駅の整備 乳幼児を抱える保護者が外出中に授乳やオムツ替えを行うことができる赤ちゃんの駅の登録促進を図り、子育てにやさしい街づくりを推進した。 また、各種イベント時に「移動式赤ちゃんの駅」の貸し出しを行い、乳幼児等に参加できるよう整備した。 赤ちゃんの駅登録数：43か所 イベント時の貸出件数：3件	—	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課 関係各課	①託児室・親子席の設置 研修会等開催時に設置する。	—	①託児室・親子席の設置 研修会等開催時に設置する。	—	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目4 ことごとからだの健康支援

施策① 「性」を尊重する意識づくり

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
リプロダクティブ・ヘルス/ライツの普及	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）についての概念の普及に努めます。	社会福祉課	①パンフレット等の配布 市内中学3年生及び高校3年生に「デートDVパンフレット」を配布し、啓発に努める。	29	①パンフレット等の配布 市内中学3年生及び高校3年生に「デートDVパンフレット」を配布。 市内高校3年生に「デートDV相談カード」を配布した。 パンフレット配布先：市内中学校3年生、高校3年生全生徒 パンフレット配布部数：2,240部 デートDV相談カード配布先：市内高校3年生全生徒 デートDV相談カード配布部数：1,186枚	27	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	②デートDV予防啓発事業 市内の中学校において交際相手からの暴力の予防のための講座を実施する。	70	②デートDV予防啓発事業 市内の中学校において交際相手からの暴力の予防のための講座を実施した。 ・第1回デートDV予防啓発講座 大道中学校 全校生徒（7/1開催）	12	B	特になし。
学校教育における「性」に関する教育の充実	児童生徒の発達段階に応じた「性」に関する教育及び学習を行います。	学校教育課	①年間指導計画に基づいた性教育の推進 各学校の年間指導計画に基づき、「総合的な学習の時間」の研究、推進により、各教科担当間での連携を推進する。	-	①年間指導計画に基づいた性教育の推進 各学校の年間指導計画に基づき、「総合的な学習の時間」の研究、推進により、各教科担当間での連携を推進した。	-	B	特になし。
〃	〃	健康増進課	①いのちの学習事業 小学校の高学年の生徒を対象に、生命の尊さ、生と性の大切さについて、年代に応じた内容の授業を保健師が実施する。	-	①いのちの学習事業 小学校2校、95人に対して実施した。	-	B	思春期保健の課題が多様化してきており、関係課と連携を図り実施していく。
学校における相談体制の充実	スクールカウンセラーの配置、スクールソーシャルワーカーの派遣など、相談体制の充実を図ります。	学校教育課	①スクールカウンセラー活用事業 臨床心理士を市内全小中学校に派遣し、児童生徒や保護者のカウンセリングを行う。 教職員に対して専門的知識に基づいたコンサルテーションを行う。	135	①スクールカウンセラー活用事業 臨床心理士を市内全小中学校に派遣し、児童生徒や保護者のカウンセリングを行った。 教職員に対して専門的知識に基づいたコンサルテーションを行った。	109	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目4 ことごとからだの健康支援

施策① 「性」を尊重する意識づくり

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
学校における相談体制の充実	スクールカウンセラーの配置、スクールソーシャルワーカーの派遣など、相談体制の充実を図ります。	学校教育課	②スクールソーシャルワーカー派遣事業 社会福祉士等の資格を有するスクールソーシャルワーカーを7名配置する。専門的な知識や技術を用いて、いじめや長期欠席、児童虐待等の生徒指導上の諸問題に対応した学校を支援する。	5,811	②スクールソーシャルワーカー派遣事業 社会福祉士等の資格を有するスクールソーシャルワーカーを7名配置した。専門的な知識や技術を用いて、いじめや長期欠席、児童虐待等の生徒指導上の諸問題に対応した学校を支援した。 (配置) スクールソーシャルワーカー7名 (派遣件数) 学校(143回) 家庭(341回) 教育委員会(69回) その他の関係機関(98回) 合計651回	3,878	B	毎月担当ケースが増えるため年度末に新規の依頼を断らざるを得ない状況になる。
〃	〃	学校教育課	③防府市教育支援センター(不登校専任指導員の配置) 不登校児童生徒の学校復帰を目的とした教室を文化福祉会館内に設置し、学習指導や教育相談を行う。 運営や指導は専任の指導員が行う。	7,207	③防府市教育支援センター(不登校専任指導員の配置) 不登校児童生徒の学校復帰を目的とした教室を文化福祉会館内に設置し、学習指導や教育相談を行った。 運営や指導は専任の指導員が行った。	6,802	B	通室状況は良いが学校への復帰率が低い。
〃	〃	学校教育課	④在宅生徒学習支援事業 学校復帰に向けた支援として不登校児童生徒宅を訪問し、学習指導や教育相談を行う。 学校の相談室等に登校している児童生徒に対し、学習指導、学習相談、進路相談、教育相談を行う。	2,343	④在宅生徒学習支援事業 学校復帰に向けた支援として不登校児童生徒宅を訪問し、学習指導や教育相談を行った。 学校の相談室等に登校している児童生徒に対し、学習指導、学習相談、進路相談、教育相談を行った。	2,274	B	一定の効果をえている。
〃	〃	学校教育課	⑤生活・安心相談員の配置 児童生徒や保護者に対して電話や面接による相談を実施する。 学校への助言や相談による支援を行う。	2,219	⑤生活・安心相談員の配置 児童生徒や保護者に対して電話や面接による相談を実施した。 学校への助言や相談による支援を行った。 (相談件数) 244件	2,131	B	相談電話の周知が不十分である。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目4 ことろとからだの健康支援

施策② 生涯を通じた健康支援・健康づくり

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
健康教育、健康相談、健康診査等の推進	一人ひとりが適切に自己管理を行うことができるよう健康づくり、健康相談、健康診査等を推進します。	健康増進課	①健康相談・健康診査・健康教室の実施 保健師や栄養士が、関係者と連携し、保健センターや地区公民館等で健康づくり教室を開催する。 乳幼児相談にあわせて、偶数月に「お母さんの健康チェック」、奇数月に歯科衛生士による母と子の歯の相談と健康教室を実施する。	—	①健康相談・健康診査・健康教室の実施 乳幼児の家庭訪問や乳幼児相談・健診の際に、母親の心身の健康について相談に応じた。 3月の女性の健康週間に合わせて託児付きの女性のがん検診を実施し、問診時や待合で、健康に関する困りごと等はないか、声かけを行った。 乳幼児相談実施時に、「お母さんの健康チェックコーナー」を設け、自身の生活習慣を振り返る機会を設けた。	—	B	様々な事業で女性が参加する機会があるため、その機会を利用して普及啓発を行う。
〃	〃	健康増進課	②健診の機会のない40歳以上の人を対象に、内科健診を実施し、疾病の早期発見・早期治療を図る。（対象：生活保護受給者の特定健診、肝炎ウイルス検査：今までに市の肝炎ウイルス健診を受けていない人）	704	②健診の機会のない40歳以上の人を対象に、内科健診を実施し、疾病の早期発見・早期治療を図る。 疾病の早期発見・早期治療を図るため、健診の機会のない40歳以上の人を対象に内科健診を実施した。（対象：生活保護受給者の特定健康診査、肝炎ウイルス検査：今までに肝炎ウイルス検査：今までに肝炎ウイルス健診を受けていない人）	385	B	生活保護受給者の健康診査受診者数が少なく、健診機会の周知が必要である。
〃	〃	健康増進課	③職場等で健診・検診の機会のない40歳以上の人（子宮がん検診は20歳以上）を対象に、がん検診を実施し、疾病の早期発見・早期治療を図る。 市広報等で検診の特集号を掲載し、周知に努める。	88,213	③がん検診実施による早期発見・早期塗料集団検診では、乳・大腸がん検診に加え、胃・肺セット検診（年11回）や託児付きの子宮がん検診、総合がん検診（土曜日に3回）の実施し、利便性の向上と市民が受診しやすいよう工夫した。情報誌「ほっぷ」に乳・子宮がん検診に関する記事を掲載、啓発のための看板ライトアップ、のぼり旗を設置。イベントに参加し、普及啓発実施。	69,922	B	20～60歳代の若い世代から壮年世代のがん検診の普及啓発、周知方法の工夫が必要である。
〃	〃	健康増進課	④高齢世代については、サロン等高齢者の集いの場を活用し、自宅でできる転倒予防運動や認知症予防、高齢者に適した食生活の普及に努める。	—	④高齢世代については、サロン等高齢者の集いの場を活用し、自宅でできる転倒予防運動や認知症予防、高齢者に適した食生活の普及に努める。 高齢者教室などにおいて、食生活や運動に関する講話を行った。	—	B	高齢者の健康課題について、関係課と共有し、健康教育や健康相談の内容の充実を図る必要がある。
〃	〃	健康増進課	⑤閉じこもり予防、生活習慣病予防等のため必要に応じ、家庭訪問を実施する。	214	⑤閉じこもり予防、生活習慣病予防等のため必要に応じ、家庭訪問を実施する。 野島の健康相談の利用者が少ない現状を受け、家庭訪問を実施し、個別に相談に応じた。	186	B	関係課と連携し、生活習慣病予防や閉じこもり予防に努める。
〃	〃	健康増進課	⑥医師等による健康に関する保健講演会を開催する。	314	⑥医師等による健康に関する保健講演会を開催する。 自殺予防対策のため、精神科医による心の健康講演会を開催した。	260	B	全国的に10歳代の自殺者の増加が目立った。若い世代に関わる家族等へ自殺予防対策のための心の健康講演会を検討していく必要がある。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目4 心とからだの健康支援

施策② 生涯を通じた健康支援・健康づくり

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
健康教育、健康相談、健康診査等の推進	一人ひとりが適切に自己管理を行うことができるよう健康づくり、健康相談、健康診査等を推進します。	健康増進課	⑦ 食生活改善推進員活動 食生活を通じて、生活習慣病予防や検診の必要性などの啓発・普及を行うため、推進員の研修会を開催し、自主活動の支援を行う。	1,124	⑦ 食生活改善推進員活動 食生活の改善、食育、がん検診受診などのついて地域で啓発・普及できるよう、研修会を開催した（年3回）。また、各地区毎にも研修会を実施し、個々の資質の向上に努めた（10支部）	1,118	B	各地区での普及啓発から、全体での地区交流を交えての普及啓発への転換への支援していく。
〃	〃	生涯学習課	①健康づくりをテーマとする講座への支援 高齢者教室・女性学級等での健康指導・体操等の講座を開設する。 市民教養講座（通年）として体操講座を開設する。	—	①健康づくりをテーマとする講座への支援 高齢者教室・女性学級等での健康指導・体操等の講座を開設した。（57回） 市民教養講座（通年）として体操等講座を開設した。（593回）	—	B	内容を充実させる。
〃	〃	保険年金課	①特定健康診査・特定保健指導の実施 40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者を対象とした生活習慣病予防のための健康診査及び保健指導をする。 ・特定健康診査（基本的な健診）：問診、身体計測、身体診察、血圧測定、血液検査、尿検査ほか（追加健診）：貧血検査、心電図検査ほか 受診対象者への文書・ハガキでの受診勧奨について、人工知能（AI）を活用する事業者へ業務委託する。 ・特定保健指導：特定健康診査の受診者を結果により階層化し、必要な者に対して、「動機付け支援」又は「積極的支援」を行う。 実施医療機関について、拡充できるか検討する。	95,723	①特定健康診査・特定保健指導の実施 40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者を対象とした生活習慣病予防のための健康診査及び保健指導をする。 ・特定健康診査 受診者数：3,965人 （前年4,028人） ・特定保健指導 利用者数：43人 （前年65人）	64,467	C	・特定健康診査 防府市の特定健診受診率が、30%前後で推移しており、山口県全体としても受診率が低い状況。 ・特定保健指導 実施医療機関が少なく、また、特定保健指導の内容が浸透していないため利用率が10%前後と低く、更なる啓発が必要である。
〃	〃	保険年金課	②国民健康保険加入者を対象とした人間ドックの実施 30歳以上75歳未満の国民健康保険加入者を対象とした9割助成の健診事業	100,000	②国民健康保険加入者を対象とした人間ドックの実施 利用者数：1,329人 （前年1,715人）	65,233	C	令和3年度に比べて利用者が減少している。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目4 こころとからだの健康支援

施策② 生涯を通じた健康支援・健康づくり

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
健康教育、健康相談、健康診査等の推進	一人ひとりが適切に自己管理を行うことができるよう健康づくり、健康相談、健康診査等を推進します。	保険年金課	③後期高齢者の健康診査の実施 後期高齢者医療制度加入者を対象とした生活習慣病予防のための健康診査を実施する。 問診、身体計測、身体診察、血圧測定、血液検査、尿検査ほか (事業主体＝山口県後期高齢者医療広域連合) 健康診査受診券の交付停止者に対して受診勧奨通知を送付し、受診希望者の掘り起こしを行う。	—	③後期高齢者の健康診査の実施 後期高齢者医療制度加入者を対象とした生活習慣病予防のための健康診査を実施する。 問診、身体計測、身体診察、血圧測定、血液検査、尿検査ほか (事業主体＝山口県後期高齢者医療広域連合) 受診者数：2,279人 (前年2,207人)	—	B	集団健診の受診者数が少なく、健康診査の受診率も伸び悩んでいる。
スポーツ活動の促進	各ライフステージに応じた健康づくりのためのスポーツ活動を促進します。	文化・スポーツ課	①スポーツ教室等の開催 支援防府市スポーツ協会・各種目団体主催 指定管理者主催	受講料・参加料で運営	①スポーツ教室等の開催支援 防府市スポーツ協会・各種目団体主催…乗馬教室・ボウリング教室・持久走記録アップ教室・ミニトランポリン教室・赤ちゃんハイハイレース・幼児かけっこレース・柔道体験会・リズム体操体験会・インターバル速歩体験会・トップアスリート事業体験会（ソフトテニス教室・バレーボール教室） 指定管理者主催…各種スポーツ教室（31教室）、各種イベント（11回）	受講料・参加料で運営	B	種目によっては、屋間の教室の参加者が少ないので、内容の充実・広報活動（ホームページ等）の強化が必要。
スポーツ活動の促進	各ライフステージに応じた健康づくりのためのスポーツ活動を促進します。	文化・スポーツ課	②スポーツ推進委員活動支援 ・スポーツ行事への協力、調整、指導 ・スポーツ活動促進に係る組織の育成 スポーツ推進委員研修会へ参加（全国、中国地区、県、県央地域） スポーツ推進委員連絡協議会の開催。	1,857	②スポーツ推進委員活動支援 スポーツ推進委員への女性登用（男性17名・女性6名） スポーツ行事への協力、調整、指導 スポーツ活動促進に係る組織の育成 スポーツ推進委員研修会へ参加（全国、県、県央地域）	1,294	B	・地域でのスポーツ人口の拡大 ・ニュースポーツの実施と市民への浸透
「食育」の推進	「食」について考える習慣や「食」を選択する判断力を身につけるための取組を行います。	学校教育課	①防府ブロック栄養教諭・学校栄養職員研修会の実施 栄養教諭・学校栄養士の資質向上を図るため、年4回実施する。	—	①防府ブロック栄養教諭・学校栄養職員研修会の実施 栄養教諭・学校栄養士の資質向上を図るため、年4回実施した。	—	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目4 ことごとからだの健康支援

施策② 生涯を通じた健康支援・健康づくり

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
「食育」の推進	「食」について考える習慣や「食」を選択する判断力を身につけるための取組を行います。	学校教育課	②食育推進会議 栄養教諭による食育訪問計画を立案、食育推進に資する。	—	②食育推進会議 栄養教諭による食育訪問計画を立案、食育推進を行った。	—	B	特になし。
〃	〃	学校教育課	③食育研修会への参加 食に関する研修会等への参加を通して、食育に関する意識の高揚を図る。	—	③食育研修会への参加 食に関する研修会等への参加を通して、食育に関する意識の高揚を図った。	—	B	特になし。
〃	〃	健康増進課	①健やかほうふ21計画(第二次)に基づく食育の推進 健やかほうふ21計画(第二次)に食育計画を含めて計画を推進する。 市民や関係団体が、お互いの連携を深め、各々の役割りに応じて食育を推進していく。 食育の普及啓発のためのパンフレット等を活用し、健康教育や研修などの機会に配付する。 食育を含めた健康づくりを広く啓発するため、健康づくり推進のつどいを開催する(1回/2年)。	0	①健やかほうふ21計画(第二次)に基づく食育の推進 健やかほうふ21計画(第二次)推進委員会を2回、部会を1回実施した。部会では、令和5年度に開催される健康づくり推進のつどいの(日ごろから、家族みんなで健康づくりに取り組むことができる)内容のアイデアを出し合った。 食生活改善推進員による親子料理教室を1地区開催した。 また、妊婦に地元の米や野菜を届ける妊婦健康サポート事業に併せて、野菜を用いたレシピを作成し同封した。	—	B	コロナ禍により、健康教育や地区の料理教室の機会が減っているため、普及啓発の機会が少なくなった。健康づくり推進のつどいなど、普及啓発の機会が徐々に増えてくるため、事業の内容と評価を充実させていく必要がある。
〃	〃	子育て支援課	①保育所における「食育」の推進 配膳、片付けに関わる体験や、調理体験、野菜の栽培等を通じて、食に対する主体性の育成及び保護者に対する食の相談や講習会を開催する。	—	①保育所における「食育」の推進 配膳・片付けに関わる体験や、調理体験、野菜の栽培等を通じて、食に対する主体性の育成及び保護者に対する食の相談や講習会を開催した。	—	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目4 こころとからだの健康支援

施策③ 妊娠・出産等に関する健康支援

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
妊産婦や乳幼児への支援の充実	子どもを安心して健やかに産み育てることができるよう、妊産婦や乳幼児に対する各種支援を行います。	健康増進課	①母子健康手帳の交付 母と子の健康を記録する母子健康手帳を交付する。	167	①母子健康手帳の交付 妊娠の届け出があった者に対して、母と子の健康を記録する母子健康手帳を交付した。併せて、妊娠届出時の面接では不安等を傾聴し、必要に応じて支援プランの作成を行った。安心して出産を迎えることができるよう、家庭訪問等による個別相談も実施した。	165	B	生活背景また疾病等、抱える不安は様々であり、個々に合わせた保健指導を継続していく必要がある。
〃	〃	健康増進課	②妊婦の保健指導 妊娠届出時に、個別指導を実施する。	142	②妊婦の保健指導 妊娠の届け出があった者に対して、母と子の健康を記録する母子健康手帳を交付した。併せて、妊娠届出時の面接では不安等を傾聴し、必要に応じて支援プランの作成を行った。安心して出産を迎えることができるよう、家庭訪問等による個別相談も実施した。	106	B	生活背景また疾病等、抱える不安は様々であり、個々に合わせた保健指導を継続していく必要がある。
〃	〃	健康増進課	③妊婦健康診査の実施 妊婦健診14回を県内産婦人科病医院に委託し、実施する。	100,000	③妊婦健康診査の実施 妊婦健診14回を県内産婦人科病医院に委託し、実施。多胎妊婦に対しては、上限5回まで健康診査費用を補助した。	82,814	B	特になし。
〃	〃	健康増進課	④産前サポート事業「プレママまんまるサロン」 妊婦が孤立せず安心して出産・育児ができることを目的に、妊婦同士の交流会を実施する。	79	④産前サポート事業 「プレママまんまるサロン」 マタニティヨガを取り入れた助産師の講話と妊婦同士の交流会を、6回開催した。	64	B	妊婦の孤立感の解消を図るために必要な事業であるため、更なる内容等の見直しをしていく必要がある。
〃	〃	健康増進課	⑤葉酸サプリメントの配布 生まれてくる子どもの先天的な神経管閉鎖障害の予防、妊娠期の貧血や妊娠高血圧症候群の予防のため、葉酸サプリメントを配布する。	600	⑤葉酸サプリメントの配布 婚姻届を出した希望者と、母子手帳交付時に、健康増進課で葉酸サプリメントを配布した。 婚姻届を出した希望者 41人 妊娠届出時に配布 794人	535	B	婚姻届を出した希望者の人数が少ないため、妊娠前から葉酸を摂取する大切さを啓発する必要がある。
〃	〃	健康増進課	⑥妊婦健康サポート事業 妊婦に、新型コロナウイルスの影響が続く中、外出時の感染リスクを軽減し、体の健康サポートをするため、旬の地元食材をお届けする。	30,000	⑥妊婦健康サポート事業の実施 妊婦の外出時の感染リスクを軽減し、体の健康をサポートするため、旬の地元食材をお届けした。	23,152	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目4 ことごとからだの健康支援

施策③ 妊娠・出産等に関する健康支援

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
妊産婦や乳幼児への支援の充実	子どもを安心して健やかに産み育てることができるよう、妊産婦や乳幼児に対する各種支援を行います。	健康増進課	⑦産婦健康診査の実施 産後間もない産婦に対して健康診査を病医院へ委託し実施する。	7,600	⑦産婦健康診査の実施 産後間もない産婦に対して健康診査を病医院へ委託し実施する。おおむね産後2週間と産後1か月の2回実施し、産後うつ予防と早期発見をに努めた。支援が必要な産婦には家庭訪問を実施した。	5,671	B	産後うつ予防と早期発見のため、医療機関との連携が重要である。
〃	〃	健康増進課	⑧産後ケア事業（宿泊型・日中一時滞在型） 産婦人科を退院後、育児不安や心身の不調のため、再度産婦人科等に宿泊し、休養や育児のサポートを受ける事業。精神疾患があるため宿泊型が利用できない産婦を対象に、日中一時滞在型を新設。	3,300	⑧産後ケア事業（宿泊型） 産婦人科を退院後、育児不安や心身の不調のため、再度産婦人科等に宿泊し、休養や育児のサポートを受ける事業を実施した。 利用者 35人（延人数）	1,875	B	利用が必要な産婦がいても、新型コロナウイルス感染拡大防止で、利用を断られることがある。
〃	〃	健康増進課	⑨産後ケア事業（デイサービス個別型） 「産後ママのほっこり相談室」 育児不安の強い、抑うつ状態にある産婦を対象に、臨床心理士によるカウンセリングを実施する事業。	180	⑨産後ケア事業（デイサービス個別型） 「産後ママのほっこり相談室」 育児不安の強い、抑うつ状態にある産婦を対象に、臨床心理士によるカウンセリングを実施した。 利用者 7名（延人数）	105	B	必要な産婦が利用できるように、医療機関との連携を図る。
〃	〃	健康増進課	⑩乳幼児健康診査の実施 1か月児、3か月児、7か月児、1歳6か月児と3歳児（小児科診察のみ）の健康診査を病医院に委託し実施する。 保健センターにて1歳6か月児及び3歳児健康診査（除く小児科診察）を実施。	40,882	⑩乳幼児健康診査の実施 医療機関と連携を図り、乳幼児健康診査を実施し、疾病の早期発見に努めた。集団検診では、保健師・保育士・栄養士により個別相談をおこない、育児の不安軽減と児の発育発達に関する支援を行った。	33,768	B	専門職と連携し、育児不安軽減と疾病の早期発見に努める。
〃	〃	健康増進課	⑪5歳児発達相談会の開催 市内の年中児に幼稚園、保育園を通じて問診票を配付し、希望者に発達相談会を通して、育児支援、生活支援、就学支援を行う。 相談員の確保を行い、それぞれの職種に適した相談内容の参加者を調整し、継続して実施する。	390	⑪5歳児発達相談会の開催 市内の年中児に幼稚園、保育園を通じて問診票を配付し、希望者に発達相談会を通して、育児支援、生活支援、就学支援を行った。（11回 77人）	322	B	相談後の支援機関の受け入れに課題がある。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目4 こころとからだの健康支援

施策③ 妊娠・出産等に関する健康支援

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
妊産婦や乳幼児への支援の充実	子どもを安心して健やかに産み育てることができるよう、妊産婦や乳幼児に対する各種支援を行います。	健康増進課	⑫家庭訪問による保健指導(随時) ハイリスク妊婦、訪問依頼のある家庭、発育・発達に関して経過観察の必要な乳幼児等の家庭訪問をする(また、産後30～60日の最も子育てに不安のある時期に産婦の家庭訪問をする)。個々に合わせた指導を行うため、訪問する職種の検討をしたり、複数で訪問するなど工夫をしながら、実施する。	—	⑫家庭訪問による保健指導(随時) ハイリスク妊婦、産後の産婦・赤ちゃん、子育てに不安を抱えている保護者、発育・発達に関して、経過観察の必要な乳幼児等の家庭訪問を実施した。	—	B	特になし。
関係団体と連携した事業の充実	母子保健推進協議会等の関係団体と連携した事業の充実を図ります。	健康増進課	①乳幼児相談・電話相談・妊婦や乳幼児の親を対象にした子育て教室の実施 乳幼児が健やかに育つために、両親に対して子育てに関する様々な教室や相談を実施する。	2,294	①乳幼児相談や子育てに関する教室の開催 保護者が安心して子育てができ、乳幼児が健やかに育つために、子育てに関する様々な教室を開催した。	1,894	B	特になし。
//	//	健康増進課	②母子保健推進活動の実施 地域の子育てサポーターとしての役割を的確に果たせるように推進員の研修会を開催し、自主活動を支援する。	1,136	②母子保健推進活動の実施 地域の子育てサポーターとしての役割を果たせるよう、推進員の全体研修会を開催し、自主活動を支援した(1回)。また、各地区でもマニュアルを用いた研修会を開催した。 3か月児の訪問時に、社会福祉協議会贈呈の絵本と共に絵本の読み聞かせ方法に関するチラシを配布し、絵本の大切さの普及啓発を行なった。	990	B	特になし。
//	//	健康増進課	③電話相談 妊婦から乳幼児、思春期の健康問題についての相談について受ける(必要時、関係機関の紹介や家庭訪問へとつなぐ)。	—	③電話相談 妊婦から乳幼児、思春期の健康問題についての相談を受け、必要時、関係機関の紹介や家庭訪問を行った。	—	B	特になし。
不妊に悩む男女への支援	不妊に悩む男女への支援を行います。	健康増進課	①いのちの誕生支援事業 不妊治療を受けている夫婦に対し、治療費を助成する。	13,200	①いのちの誕生支援事業 不妊治療を受けている夫婦に対し、治療費を助成した。	7,067	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目4 ことごとからだの健康支援

施策④ 心身の健康をおびやかす問題についての対策の推進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
薬物乱用、HIV／エイズ、性感染症、喫煙、飲酒、不健康やせ等の予防・防止対策の推進	健康をおびやかす様々な問題について、正しい知識と薬物乱用、HIV／エイズ、性感染症、喫煙、飲酒、不健康やせ等の正しい知識の普及啓発を図るとともに、予防・防止対策を推進します。	学校教育課	①「薬物乱用、ダメ、ゼッタイ」教室の実施 山口県薬物乱用対策推進本部との連携により、各学校の年間指導計画に基づき実施する。	—	①「薬物乱用、ダメ、ゼッタイ」教室の実施 山口県薬物乱用対策推進本部との連携により、各学校の年間指導計画に基づき実施した。	—	B	特になし。
〃	〃	学校教育課	②山口県薬物乱用防止推進員防府地区協議会総会開催（県主催） 近年の薬物事犯についての報告及び薬物乱用防止推進委員活動等について打ち合わせを行う。	—	②山口県薬物乱用防止推進員防府地区協議会総会開催（県主催） 近年の薬物事犯についての報告及び薬物乱用防止推進委員活動等について打ち合わせを行った。	—	B	特になし。
〃	〃	健康増進課	①健康教育の実施 妊娠届出者全員に、妊婦自身の禁煙や副流煙の害についてパンフレットを用いて保健指導を実施する。	—	①健康教育の実施 妊娠届出時、乳幼児相談、1歳6か月児・3歳児健康診査時の必要時に、妊婦や母への禁煙や副流煙の害についてパンフレットを用いて保健指導を実施する。	—	B	特になし。
〃	〃	生涯学習課	①青少年育成センター指導員及び青少年補導員による巡視補導及び相談等の活動 夜間の巡視指導、危険箇所の確認、有害環境の点検などを実施する。 警察署をはじめ関係機関・団体が実施する合同巡視に参加し、青少年の健全育成を推進する。	1,209	①青少年育成センター指導員及び青少年補導員による巡視補導及び相談等の活動 夜間の巡視指導、危険箇所の確認、有害環境の点検などを実施した。 警察署をはじめ関係機関・団体が実施する合同巡視は、4、7、8月を除き月1回行った。 （実施回数：401回、参加延べ人数：1,474人）	1,186	B	新型コロナウイルスによる環境の変化を考慮しつつ、引き続き活動を継続していく必要がある。
こころの健康の支援	こころの健康について、正しい知識の普及啓発を図るとともに、支援員の養成などに努めます。	学校教育課	①スクールカウンセラー活用事業（再掲：Ⅱ-4-①） ① 臨床心理士を市内全小中学校に派遣し、児童生徒や保護者のカウンセリングを行う。 教職員に対して専門的知識に基づいたコンサルテーションを行う。	135	①スクールカウンセラー活用事業（再掲：Ⅱ-4-①） ① 臨床心理士を市内全小中学校に派遣し、児童生徒や保護者のカウンセリングを行った。 教職員に対して専門的知識に基づいたコンサルテーションを行った。	109	B	特になし。
〃	〃	学校教育課	②生活・安心相談員の配置（再掲：Ⅱ-4-①） 児童生徒や保護者に対して電話や面接による相談を実施する。 学校への助言や相談による支援を行う。	2,219	②生活・安心相談員の配置（再掲：Ⅱ-4-①） 児童生徒や保護者に対して電話や面接による相談を実施した。 学校への助言や相談による支援を行った。 （相談件数）244件	2,131	B	相談電話の周知が不十分である。
〃	〃	学校教育課	③年間指導計画に基づいての指導や講演会の実施 道徳、保健及び学級活動等の時間において、年間指導計画に基づいて指導する。 専門的知識をもつ講師による講演会を実施し、保護者への啓発を図る。	—	③年間指導計画に基づいての指導や講演会の実施 「防府市学校支援員研修会」を1/31に実施した。 内容は「発達障害のある児童生徒の適切な支援について」参加者は60名	—	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目4 ことごとからだの健康支援

施策④ 心身の健康をおびやかす問題についての対策の推進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
こころの健康の支援	こころの健康について、正しい知識の普及啓発を図るとともに、支援員の養成などに努めます。	健康増進課	①ココロぽっとサポーター講座(ゲートキーパー養成講座)の開催	314	①ココロぽっとサポーター講座(ゲートキーパー養成講座)の開催 実施 3回 149人参加 (トータル 1362人養成)	260	B	市職員への開催は一定数養成できるが、一般向け開催は、参加者数が少ないため、周知や普及に工夫が必要である。
〃	〃	健康増進課	②身近な相談先等を掲載したリーフレットや自殺予防カードの配布		②身近な相談先等を掲載したリーフレットや自殺予防カードの配布 関係機関の窓口にリーフレットを補充した。		B	10歳代から若者世代の自殺予防対策などの周知や啓発に工夫が必要である。
〃	〃	健康増進課	③自殺予防週間、自殺対策強化月間にあわせたホームページ等での知識の普及啓発		③自殺予防週間、自殺対策強化月間にあわせたホームページ等での知識の普及啓発 関係機関の窓口や1歳6か月児・3歳児健康診査時に啓発用ポケットティッシュを配布した。		B	コロナ禍によるこころの健康問題も多様化しており、引き続き広く周知が必要である。
〃	〃	健康増進課	④産後うつ等の早期発見、支援 保健師の訪問時に産後うつに関する質問票の実施。必要時支援を行う。		④産後うつ等の早期発見、支援 産婦健康診査実施時や、保健師の訪問時に、産後うつに関する質問票を実施し、医療機関と連携を図り支援をおこなった。		B	早期支援ができるよう、引き続き医療機関との連携が必要である。
〃	〃	生涯学習課	①子育て講座の実施(再掲：I-3-②) 就学期子育て講座を実施する。(就学期を迎えた保護者を対象) 思春期子育て講座を実施する。(保護者及び生徒を対象)	194	①子育て講座の実施(再掲：I-3-②) 就学期子育て講座を市内15校の小学校で実施した。(就学期を迎えた保護者を対象) 思春期子育て講座を市内9校の中学校で実施した。(生徒、中学生の子を持つ保護者、教職員、地域の人等を対象)	90	B	思春期子育て講座の開催のない学校がある。
〃	〃	生涯学習課	②家庭教育学級の実施(再掲：I-3-②) 親子参加による講演会を実施する。 子育て講演会を実施する。	-	②家庭教育学級の実施(再掲：I-3-②) 親子参加による講演会を実施した。 子育て講演会を実施した。 (開催) 全公民館で125回実施 (参加者) 延1,604人	-	B	コロナの収束により、開催回数、参加者は前年に比べ増加したが、参加者の確保が困難となってきた。
〃	〃	生涯学習課	③家庭教育の本等の貸出し(再掲I-3-②)	-	③家庭教育の本等の貸出し(再掲I-3-②) 家庭教育の本・ビデオ・DVDの無料貸出しを行い、市のホームページにも貸出し一覧を掲載した。	-	B	利用者が少ない。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶【防府市DV対策基本計画】

施策① 暴力を許さない環境づくり

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
暴力の防止に向けた広報、啓発	DV防止に向けた意識づくりのため、各種メディアを活用し、広報、啓発を行います。	社会福祉課	①市広報等での啓発 男女共同参画週間(6/23～6/29)、女性に対する暴力をなくす運動週間(11/12～11/25)に合わせ、市広報等各種メディアを活用した啓発活動を行う。	—	①市広報等での啓発 男女共同参画週間(6/23～6/29)女性に対する暴力をなくす運動週間(11/12～11/25)に合わせ、市広報等各種メディアを活用した啓発活動を行った。	—	B	特になし。
若年層への普及啓発	若年層に対し、デートDVやSNS等による暴力の防止について、普及啓発に努めます。	社会福祉課	①「デートDVパンフレット」の配布(再掲：Ⅱ-4-①) デートDVに対する正しい理解と予防啓発、相談窓口周知を目的とした内容のパンフレットを作成し、市内の中学3年生及び高校3年生の全生徒へ配付する。	29	①パンフレット等の配布(再掲：Ⅱ-4-①) 市内中学3年生及び高校3年生に「デートDVパンフレット」を配布。 市内高校3年生に「デートDV相談カード」を配布した。 パンフレット配布先：市内中学校3年生、高校3年生全生徒 パンフレット配布部数：2,240部 デートDV相談カード配布先：市内高校3年生全生徒 デートDV相談カード配布部数：1,186枚	27	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	②デートDV予防事業(再掲：Ⅱ-4-①) 市民活動団体と協働し、市内の中学校において交際相手からの暴力の予防のための講座を実施する。	69	②デートDV予防啓発事業(再掲：Ⅱ-4-①) 市内の中学校において交際相手からの暴力の予防のための講座を実施した。 ・第1回デートDV予防啓発講座 大道中学校 全校生徒(7/1開催)	12	B	特になし。
〃	〃	学校教育課	①デートDVに関する授業の実施 市内5中学校において、デートDVに関する授業や講演会を行う。	—	①デートDVに関する授業の実施 市内5中学校において、デートDVに関する授業や講演会を行った。	—	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶【防府市DV対策基本計画】

施策① 暴力を許さない環境づくり

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
情報の収集と提供	研修会等に参加し、DVに関する情報収集に努めるとともに、学校・家庭・地域等へ適切な情報提供を行います。	社会福祉課	①研修会への参加 県や国又は各種団体が開催する研修会へ積極的に出席し、相談業務におけるスキルアップを図る。	45	①研修会への参加 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会がWeb配信に変更となった。	0	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	②イベントで情報収集及び情報提供 生涯学習フェスティバルに参加し、相談窓口等の情報提供を行う。	-	②イベントで情報収集及び情報提供 生涯学習フェスティバルに参加し、相談窓口等の情報提供を行った。	-	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	③啓発用パンフレットの作成・配布 研修会や啓発講座開催時に参加者へデートDV防止リーフレットを配布する。	-	③啓発用パンフレットの作成・配布 生涯学習フェスティバルや啓発講座開催時に参加者へリーフレットを配布した。	-	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	⑤啓発用ビデオ・DVD・図書の貸出 啓発用の図書やビデオの無料貸出を行う。 デートDV予防啓発講座で図書等の紹介をする。	3	④啓発用ビデオ・DVD・図書の収集及び貸出 令和4年度啓発用の図書を1冊購入した。タイトル：「愛を言い訳にする人たち～DV加害男性700人の告白」	3	B	啓発図書や啓発ビデオの貸出がない。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶【防府市DV対策基本計画】

施策② 相談体制の充実及び被害者の保護

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
相談窓口の周知	被害者の立場に立ち、相談窓口の周知拡大に努めます。	社会福祉課	①DV相談カードの配布 市内の公共施設・産婦人科医院・保育園・店舗の女性トイレにDV相談カードを置いてもらうように依頼する。各種事業開催時にDV相談カードを配布する。	29	①DV相談カードの配布 市内の公共施設・医療機関・保育園・幼稚園にDV相談カードを置いてもらうように依頼した。 DV相談カード配布数：1,568枚 (うち民生委員・児童委員 配布数：753枚)	27	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	②各種メディアの活用 男女共同参画週間(6/23～6/29)、女性に対する暴力をなくす運動週間(11/12～11/25)に合わせ、相談窓口について、市広報に掲載し、周知の拡大を図る。	—	②各種メディアの活用 男女共同参画週間(6/23～6/29)、女性に対する暴力をなくす運動週間(11/12～11/25)に合わせ、相談窓口について、市広報に掲載し、周知の拡大を図る。	—	B	特になし。
相談体制の充実	被害者が相談しやすい、市の各関係部署、県や各関係機関と連携した相談体制の充実に努めます。	社会福祉課	①相談業務 女性相談員等が電話や来所の相談に対応し、自立に向けた支援を行う。	3,249	①相談業務 女性相談員等が電話や来所の相談に対応し、自立に向けた支援を行った。 R4年度相談件数：電話132件(うち新規29件)、来所312件(うち新規152件)	2,814	B	相談件数が年々増加しており、関係各機関との連携がさらに必要となっている。
〃	〃	社会福祉課	②各種支援の情報提供 経済的支援等に関する制度や、県男女共同参画相談センター、法テラス等の支援先の情報提供を積極的に行う。	—	②各種支援の情報提供 経済的支援等に関する制度や、県男女共同参画相談センター、法テラス等の支援先の情報提供を積極的に行った。 R4年度 法テラス弁護士紹介件数：78件 R4年度 ハローワーク紹介件数：2件	—	B	特になし。
〃	〃	生涯学習課	①ヤングテレホン防府による電話相談や来所相談 ヤングテレホン防府や来所者から受けた相談に対して問題の早期解決を目指し、助言・指導及び関係機関の紹介等を実施する。	2,453	①ヤングテレホン防府による電話相談や来所相談 ヤングテレホン防府や来所者から受けた相談に対して、助言・指導及び関係機関の紹介をした。 (相談件数62件)	2,193	B	広く周知が必要である。
〃	〃	広報広聴課	①各種専門相談員による相談会 無料法律相談の実施(年12回、毎月)	975	①各種専門相談員による相談会 無料法律相談の実施(年12回、毎月)	974	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶【防府市DV対策基本計画】

施策② 相談体制の充実及び被害者の保護

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
相談員等関係者の資質の向上	研修会等に参加し、相談員等関係者の資質の向上を図ります。	社会福祉課	①研修会への参加（再掲Ⅱ-5-①） 県や国又は各種団体が開催する研修会へ積極的に出席し、相談業務におけるスキルアップを図る。	45	①研修会への参加（再掲Ⅱ-5-①） 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会がWeb配信に変更となった。 各市から提出された議題を基に、意見交換・情報交換を行った。	0	B	特になし。
相談員等関係者の資質の向上	研修会等に参加し、相談員等関係者の資質の向上を図ります。	生涯学習課	①関係機関との連携による情報交換・研修会等への出席 関係機関主催の諸会議・研修会に出席し、相談業務における情報交換を行い、スキルアップを図る。	-	①関係機関との連携による情報交換・研修会等への出席 関係機関・団体との情報交換の場に積極的に参加 学習相談・講師紹介・生涯学習情報の提供等：810件	-	B	新たな情報交換や研修の機会の確保が必要である。
被害者の保護	緊急性の高い相談は、県や各関係機関と連携して、被害者の安全確保に取り組むとともに、個人情報保護の徹底を図ります。	社会福祉課	①関係機関との連携 緊急時における安全の確保のため、警察と連携を図り、一時保護施設入所を行う。	-	①関係機関との連携 緊急時における安全の確保のため、警察と連携を図り、一時保護施設入所を行った。 R4年度一時保護施設入所件数：0件	-	B	関係機関との連携強化を継続して実施する。
//	//	市民課	①改正DV防止法に基づく個人情報保護のための支援措置の実施 申請受理し、警察等関係機関への確認により、支援措置を決定したもののについて、加害者の不当な目的による利用防止のため、住民基本台帳の閲覧・住民票・戸籍附票の交付に制限措置を行う。 庁内関係各課に申出者の住所支援について徹底を促す。 戸籍届出書について申入れを受理し、戸籍記載事項証明書の交付に制限措置を行う。	-	①改正DV防止法に基づく個人情報保護のための支援の実施 申請受理し、警察等関係機関への確認により、支援措置を決定したもののについて、加害者の不当な目的による利用防止のため、住民基本台帳の閲覧・住民票・戸籍附票の交付に制限措置を行った。 また、法務局からの要請により、証明書発行制限については今年度より戸籍謄抄本についても行った。 庁内関係各課に申出者の住所支援について徹底を促した。 戸籍届出書について申入れを受理し、戸籍記載事項証明書の交付に制限措置を行った。 上記支援について、市内202名、市外152名の支援を行っている。（令和4年度末時点）	-	B	関係機関との連携を強化する。
//	//	関係各課（社会福祉課）	①被害者の個人情報の保護の徹底 加害者からの問合せ等に対する被害者の情報の保護を徹底する。	-	①被害者の個人情報の保護の徹底 加害者からの問合せ等に対する被害者の情報の保護を徹底した。	-	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶【防府市DV対策基本計画】

施策③ 被害者の自立に向けた支援

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
被害者への支援	関係部署、県や各関係機関と連携して、被害者の自立を支援します。	社会福祉課	①関係機関等と連携して支援の実施 経済的自立支援をはじめ、施設等における保護の実施、市営住宅の入居などの対応に努めます。	—	①関係機関等と連携して支援の実施 経済的自立支援をはじめ、施設等における保護の実施、市営住宅の入居などの対応に努めた。 R4年度市営住宅紹介件数：17件	—	B	特になし。
〃	〃	建築課	①DV被害者の公営住宅への期限付緊急入居の実施 住宅の確保に困窮している被害者を支援するため、市営住宅への一時的な緊急入居を実施する。	—	①DV被害者の公営住宅への期限付緊急入居の実施 DV被害者の公営住宅への期限付緊急入居の実施相談を受けたが、市営住宅への入居には至っていない。	—	B	特になし（国土交通省からの通知等に基づき実施している）。
〃	〃	関係各課（建築課）	①被害者の個人情報保護の徹底 加害者からの問合せ等に対する被害者の情報の保護を徹底する。 ※公営住宅管理システムでDV被害者確認可	—	①被害者の個人情報保護の徹底 加害者からの問合せなし。	—	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶【防府市DV対策基本計画】

施策④ DV対策の推進体制の整備

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
DV対策推進体制の強化	DVに関する部署との連携を図るとともに、県や関係機関との連携強化を図ります。	社会福祉課	①庁内の連携強化 警察、県等庁外の関係機関と綿密な連携を図るとともに、庁内で適切な情報共有を図り、DV対策を推進します。 関係部署の業務の再確認や具体的事例を上げての対応策の検討をする。	—	①庁内の連携強化 令和4年9月28日に防府市DV対策庁内連携会議を開催した。 関係各課での業務の再確認をした。 関係各課から問題点を挙げてもらい、対応策を検討した。	—	B	多様化する相談の対応するため、関係各課との連携強化に努めます。
〃	〃	関係各課 (建築課) (市民課)	①支援の強化 改正DV防止法に基づく個人情報保護のための支援措置や、DV被害者の公営住宅への期限付緊急入居の実施など、必要に応じた支援を行う。	—	①支援の強化 【建築課】 相談を受けたが、市営住宅への入居には至っていない。 【市民課】 改正DV防止法に基づく個人情報保護のための支援措置や、庁内関係各課へ住所支援の徹底を促した。DV対策庁内連携会議に参加し、関係各課と情報共有を行った。	—	B	関係機関との連携を強化する。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目6 みんながいそいそ暮らせる条件の整備

施策① 高齢者・障害者等が自立して暮らせる体制づくり

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
自立支援事業の推進	地域でいきいきと自立した生活ができるよう、介護予防を推進します。また、スポーツ・レクリエーション活動の促進に努めます。	障害福祉課	①障害者スポーツ交流事業 ・防府市障害者体育大会を開催する。 （事業主体＝防府市社会福祉協議会） ・山口県障害者スポーツ大会への参加を支援する。 （事業主体＝山口県障害者スポーツ大会運営委員会） ②障害者レクリエーション推進事業 知的障害者児対象の野外レクリエーションを開催する。 （事業主体＝防府市社会福祉協議会） ③障害者地域生活支援事業 手話奉仕員・要約筆記者・点訳奉仕員養成、手話通訳者・要約筆記者派遣、手話通訳者設置、点字広報発行、音声広報発行、障害者に対する生活訓練、移動支援、訪問入浴サービス、日中一時支援、自発的活動支援、福祉ホーム運営補助、他市通所補助等	38,126	①障害者スポーツ交流事業 ・防府市障害者体育大会は、コロナのため中止。 ・山口県障害者スポーツ大会に11名参加した。 （陸上、水泳、卓球、フライングディスク） ※全国障害者スポーツ大会の派遣選手選考会のみ開催、キラリンピック（一般参加）はコロナのため中止 ②障害者レクリエーション推進事業 ・コロナのため中止。 ③障害者地域生活支援事業 手話奉仕員養成講座（20人受講） 要約筆記者養成講座（2人受講） 点訳奉仕員養成講座（4人受講） 点字広報（市広報点字版の発行） 音声広報（音声市広報・議会だよりの発行） 手話通訳者・要約筆記者派遣 手話通訳者設置（市障害福祉課2名） 障害者に対する生活訓練、移動支援、訪問入浴サービス、日中一時支援、自発的活動支援、福祉ホーム運営補助、他市通所補助等	29,805	B	スポーツ大会や養成講座への参加者が増えるよう周知を図る必要がある。
〃	〃	高齢福祉課	①老人大学設置運営事業 高齢者に対し、体系的な学習機会を提供し、生きがいのある豊かな老後の創造に寄与する。 （事業主体＝防府市社会福祉協議会）	200	①老人大学設置運営事業 高齢者に対し、体系的な学習機会を提供し、生きがいのある豊かな老後の創造に寄与する。 （事業主体＝防府市社会福祉協議会） 開講数：10回 参加人数（延べ）：300人	200	B	受講内容に工夫が必要。
〃	〃	高齢福祉課	②三世代交流事業 高齢者の豊富な経験と技能を若い世代に伝承し、生きがいを高めるとともに郷土文化の向上に資する。 三世代交流会を実施する。 （事業主体＝防府市社会福祉協議会）	400	②三世代交流事業 高齢者の豊富な経験と技能を若い世代に伝承し、生きがいを高めるとともに郷土文化の向上に資する。 三世代交流会を実施する。 （事業主体＝防府市社会福祉協議会） 開催回数：74回 参加人数（延べ）：6,568人	400	B	受講内容に工夫が必要。
〃	〃	社会福祉課	③総合社会福祉大会事業 表彰、記念講演、福祉展等を実施する。 （事業主体＝防府市社会福祉協議会）	1,000	③総合社会福祉大会事業 社会福祉事業に功績のあった方への表彰、記念講演、福祉展等を実施した。 （事業主体＝防府市社会福祉協議会）	903	B	幅広い方々に社会福祉に興味関心を持ってもらう機会にもなる大会とする必要がある。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目6 みんながいきいき暮らせる条件の整備

施策① 高齢者・障害者等が自立して暮らせる体制づくり

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
自立支援事業の推進	地域でいきいきと自立した生活ができるよう、介護予防を推進します。また、スポーツ・レクリエーション活動の促進に努めます。	高齢福祉課	④老人スポーツ普及事業 大会運営費を委託する。 （事業主体＝防府市社会福祉協議会）	1,218	④老人スポーツ普及事業 大会運営費を委託した。 （事業主体＝防府市社会福祉協議会） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。	1,218	B	新型コロナウイルス感染の懸念から、開催できていない。
生きがいづくり活動への支援	生きがいを持って過ごせるよう、老人クラブ活動やサークル活動等を支援します。また、障害者の適性に応じた就労を支援します。	障害福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 障害者の就労支援を図る 総合支援協議会の就労支援部会内において、関係機関と連携し、障害者の就労支援を図る。 障害者雇用の推進 防府商工会議所と締結した「障害者雇用の推進に関する協定」に基づき、市内事業者が障害者の雇用を進めるために必要な支援を協働して行う。 （障害者雇用に関する説明会、個別企業との協定締結） 	—	<ul style="list-style-type: none"> 障害者の就労支援を図る 総合支援協議会の就労支援部会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動できなかった部分もあるがR3年度まで実施を見合わせていた総合支援学校の見学会を行い、就労に向けた活動を知ることができた。 障害者雇用の推進 防府商工会議所と締結した「障害者雇用の推進に関する協定」についてはコロナ禍のため活動ができなかった。 	—	B	可能などころからコロナ禍前の活動に戻していく必要がある。
〃	〃	高齢福祉課	①老人クラブ活動助成事業 老人クラブへの補助金支出をする。	4,754	①老人クラブ活動助成事業 老人クラブへの補助金支出をした。 （補助対象活動：教養活動、地域活動、健康活動）	4,754	B	補助対象費目の精査が必要。
〃	〃	健康増進課	①いきいきふれあいサロンへの支援 社会福祉協議会が行ういきいきふれあいサロンでの健康教育を実施する。	—	①いきいきふれあいサロンへの支援 社会福祉協議会が行ういきいきふれあいサロンでの健康教育を実施した。（1回）	—	B	健康の維持・増進できるよう、関係課と連携しながら実施していく。
〃	〃	教育総務課	①サークル活動への支援 会場及び機器、設備等を提供する。 職員がブックトークを行う機会が増加しているため、ブックトークを行える職員の更なる育成と技術の向上を図る。	—	①サークル活動への支援 会場及び機器、設備等を提供をした。 情報提供をした。 サークル団体等に対し、職員がブックトークを実施した。 （事業主体：防府市立防府図書館（指定管理者＝防府市文化振興財団））	—	B	会場及び機器、設備等を提供する。 情報提供をする。 各職員がブックトークを行う機会を設け、技術の向上を図る。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目6 みんながいきいき暮らせる条件の整備

施策① 高齢者・障害者等が自立して暮らせる体制づくり

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
生きがいつくり活動への支援	生きがいを持って過ごせるよう、老人クラブ活動やサークル活動等を支援します。また、障害者の適性に応じた就労を支援します。	教育総務課	②高齢者・障害者向け図書サービスの拡大 高齢者・障害者向け図書館資料を更に整備、充実させる。 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスを開始する。 高齢者向けの講座を実施する。	—	②高齢者・障害者向け図書サービスの拡大 高齢者・障害者向け図書館資料を更に整備、充実させた。 一般向けの講座「大人のくらし塾」を実施した。 防府図書館障害者等用サービス「ひなぎくネット」の運用を開始した。 防府市電子図書館のサービスを開始した。 (事業主体：防府市立防府図書館（指定管理者＝防府市文化振興財団）)	—	A	高齢者・障害者向け図書館資料を更に整備、充実させる。
〃	〃	教育総務課	③高齢者・障害者向け図書サービスに関する研修の実施 山口県立山口図書館が開催する研修をはじめ、Zoom等を活用しながらオンラインでの研修にも積極的に参加するとともに、高齢者・障害者サービスに関する研修を実施する。	—	③高齢者・障害者向け図書サービスに関する研修の実施 山口県立山口図書館が開催する公共図書館講習会（第2回）「山口県視覚障害教育センターの取り組み」に参加した。 (事業主体：防府市立防府図書館（指定管理者＝防府市文化振興財団）)	—	B	山口県立山口図書館が開催する研修をはじめ、オンラインでの研修にも積極的に参加するとともに、高齢者・障害者サービスに関する研修を実施する。
〃	〃	教育総務課	④障害者向け図書サービスの周知 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスを開始し、周知に努める。	—	④障害者向け図書サービスの周知 防府図書館障害者等用サービス「ひなぎくネット」の広報を行った。 防府市電子図書館の広報を行うとともに体験会を実施した。 (事業主体：防府市立防府図書館（指定管理者＝防府市文化振興財団）)	—	B	防府図書館障害者等用サービス「ひなぎくネット」および防府市電子図書館の周知に努める。
関係団体への支援	地域福祉活動を担う社会福祉協議会等の活動を支援します。	社会福祉課	①社会福祉協議会関係事業 地域福祉の中核的な組織である社会福祉法人防府市社会福祉協議会に対し、運営費や事業費を助成することにより、当法人の活動の強化を図る。 継続して助成を行うとともに、「防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」に沿って事業や取り組みを確実に実施するよう指導する。	75,701	①社会福祉協議会関係事業 地域福祉の中核的な組織である社会福祉法人防府市社会福祉協議会に対し、運営費や事業費を助成することにより、当法人の活動の強化を図った。 継続して助成を行うとともに、「第三次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」に沿って事業や取り組みを確実に実施するよう指導を行った。	72,301	B	「防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」に沿った事業や取組を着実に実施していく必要がある。
〃	〃	高齢福祉課	①ふれあいのまちづくり事業 社会福祉協議会への補助金を支出する。	2,800	①ふれあいのまちづくり事業 社会福祉協議会への補助金を支出した。	2,800	B	補助対象費目の精査が必要。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目6 みんながいきいき暮らせる条件の整備

施策② 高齢者・障害者等が安心して暮らせる条件の整備

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
介護保険制度の円滑な運営	介護サービスの充実を図るとともに、介護保険制度が円滑に運営されるよう取り組みます。	高齢福祉課	①介護保険制度 要介護認定申請受付及び認定をする。 介護保険を給付する。	10,900,932	①介護保険制度 要介護認定申請受付及び認定をする。 介護保険を給付する。	10,192,071	B	高齢化の進行による認定者数及び受給者数・給付費の増加。
障害福祉サービスの充実	障害者が安心して生活できるよう、障害福祉サービス等の充実を図ります。	障害福祉課	①身体障害者福祉電話基本料金助成事業 一人暮らしの重度身体障害者に対し電話機を貸与し、電話代の基本料金を助成する。	108	①身体障害者福祉電話基本料金助成事業 一人暮らしの重度身体障害者に対し電話機を貸与し、電話代の基本料金を助成した。	64	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	②重度心身障害者医療費助成 重度心身障害者の疾病に対する医療に要する経費のうち医療保険の自己負担額の一部を助成する。	530,153	②重度心身障害者医療費助成 重度心身障害者の疾病に対する医療に要する経費のうち医療保険の自己負担額の一部を助成した。	465,409	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	③特別障害者手当 20歳以上の在宅の重度障害者へ支給する。月額27,350円（2・5・8・11月に前月分までを支給）	32,246	③特別障害者手当 20歳以上の在宅の重度障害者へ支給した。月額27,300円（2・5・8・11月に前月分までを支給） 給付対象者：108名	31,841	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	④福祉手当（経過措置） S61年3月31日時点で国制度の福祉手当を受給していた20歳以上の人で、特別障害者手当や障害年金等の支給を受けることができない人に支給する。所得制限あり。 月額14,880円、年4回（5月、8月、11月、2月）	179	④福祉手当（経過措置） S61年3月31日時点で国制度の福祉手当を受給していた20歳以上の人で、特別障害者手当や障害年金等の支給を受けることができない人に支給した。所得制限あり。 月額14,850円、年4回（5月、8月、11月、2月） 給付対象者：1名	179	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	⑤障害児福祉手当 20歳未満の在宅の重度障害児へ支給する。月額14,880円（2・5・8・11月に前月分までを支給）	9,777	⑤障害児福祉手当 20歳未満の在宅の重度障害児へ支給した。月額14,850円（2・5・8・11月に前月分までを支給） 給付対象者：61名	9,612	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	⑥防府市福祉年金 身体障害者手帳1級から4級までの各級、療育手帳A及びB（中度）の交付を受けている人のうち、公的年金等を受給していない人へ福祉年金を支給する。	15,710	⑥防府市福祉年金 身体障害者手帳1級から4級までの各級、療育手帳A及びB（中度）の交付を受けている人のうち、公的年金等を受給していない人へ福祉年金を支給した。	15,320	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	⑦心身障害者扶養共済制度掛金助成 心身障害者扶養共済制度（心身障害者を扶養する者が加入し掛金を拠出し、加入者が死亡又は重度障害となったとき、心身障害者に対して終身年金を支給する。また、障害者死亡のときは一時金を加入期間に応じて支給する。）の掛金を助成する。	1,095	⑦心身障害者扶養共済制度掛金助成 心身障害者扶養共済制度（心身障害者を扶養する者が加入し掛金を拠出し、加入者が死亡又は重度障害となったとき、心身障害者に対して終身年金を支給する。また、障害者死亡のときは一時金を加入期間に応じて支給する。）の掛金を助成した。	954	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目6 みんながいきいき暮らせる条件の整備

施策② 高齢者・障害者等が安心して暮らせる条件の整備

事業評価
A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった
B：概ね計画通り達成した
C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる
D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
障害福祉サービスの充実	障害者が安心して生活できるよう、障害福祉サービス等の充実を図ります。	障害福祉課	⑧介護・訓練等給付事業 障害者の在宅生活・施設入所支援及び就労・自立訓練等支援を行う。	2,104,629	⑧介護・訓練等給付事業 障害者の在宅生活・施設入所支援及び就労・自立訓練等支援を行った。	2,080,900	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	⑨更生医療の給付 身体障害者手帳を所持する18歳以上の障害者が日常生活能力等を回復・獲得する為に行われる医療に対し給付を行う。	158,000	⑨更生医療の給付 身体障害者手帳を所持する18歳以上の障害者が日常生活能力等を回復・獲得する為に行われる医療に対し給付を行った。	110,236	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	⑩補装具の交付・借受け・修理 身体障害者の失われた機能を補うために用いられる用具（補装具）の交付及び借受け、修理を行う。	32,217	⑩補装具の交付・借受け・修理 身体障害者の失われた機能を補うために用いられる用具（補装具）の交付及び借受け、修理を行った。 購入：124 借受：0 修理：104	27,861	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	⑪日常生活用具の給付 障害のため自力で日常生活を営むことが困難な人に、ストマ装具、紙おむつ、特殊ベッド、便器等の給付を行う。	33,243	⑪日常生活用具の給付 障害のため自力で日常生活を営むことが困難な人に、ストマ装具、紙おむつ、特殊ベッド、便器等の給付を行った。 給付件数：1,578件	30,764	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	⑫育成医療の給付 身体に障害があるが手術等の治療で障害の改善が期待できる18歳未満の児童に行われる医療に対し給付を行う。	4,000	⑫育成医療の給付 身体に障害があるが手術等の治療で障害の改善が期待できる18歳未満の児童に行われる医療に対し給付を行った。	2,216	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	⑬外出支援助成 福祉タクシー利用料金の助成や、自動車運転免許取得、自動車改造等の助成を行う。	23,969	⑬外出支援助成 福祉タクシー利用料金の助成や、自動車運転免許取得、自動車改造等の助成を行った。	19,464	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	⑭心身障害児総合療育機能推進事業 心身に障害のある乳幼児又は心身に障害を招来するおそれのある乳幼児について、適切な助言・指導を行うとともに、障害の状況に適した治療及び療育を行う。	61	⑭心身障害児総合療育機能推進事業 心身に障害のある乳幼児又は心身に障害を招来するおそれのある乳幼児について、適切な助言・指導を行うとともに、障害の状況に適した治療及び療育を行った。	60	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	⑮人工内耳装着用助成 人工内耳装用者に、電池購入費、スピーチプロセッサの一部を助成する。	355	⑮人工内耳装着用助成 人工内耳装用者に、電池購入費、スピーチプロセッサの一部を助成した。 人工内耳用電池等購入費助成者：5人	83	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	⑯在宅寝たきり障害者等紙おむつ給付事業 在宅寝たきり障害者等（65歳未満）に対し紙おむつを給付する。	540	⑯在宅寝たきり障害者等紙おむつ給付事業 在宅寝たきり障害者等（65歳未満）に対し紙おむつを給付した。 給付件数：58件	290	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	⑰軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業 身体障害者手帳の対象とならない軽度・中等度難聴児の聞こえの確保と言語の発達を支援するため、補聴器購入費用等を助成する。	613	⑰軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業 身体障害者手帳の対象とならない軽度・中等度難聴児の聞こえの確保と言語の発達を支援するため、補聴器購入費用等を助成した。	364	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目6 みんながいきいき暮らせる条件の整備

施策② 高齢者・障害者等が安心して暮らせる条件の整備

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
高齢者福祉サービスの充実	高齢者のニーズに対応するため、各種サービスの充実に努めます。	障害福祉課	⑱療養介護医療の給付 常時介護を必要とする重度の心身障害者に対し、医療機関にて行う医療的ケアに関する費用を給付する。	18,615	⑱療養介護医療の給付 常時介護を必要とする重度の心身障害者に対し、医療機関にて行う医療的ケアに関する費用を給付した。	14,383	B	特になし。
〃	〃	高齢福祉課	①介護予防・日常生活支援総合事業 65歳以上の高齢者を対象とした訪問・通所型サービス以外に生活支援サービスを組み合わせた介護予防サービスを提供する。	7,013	①介護予防・日常生活支援総合事業 65歳以上の高齢者を対象とした訪問・通所型サービス以外に生活支援サービスを組み合わせた介護予防サービスを提供した。	4,362	B	特になし
〃	〃	高齢福祉課	②家族介護用品支給事業 在宅のねたきり老人等で、おむつ使用者に対し紙おむつ引換券を給付し、快適な生活を確保する。 年4回の紙おむつ引換券を給付する。	23,000	②家族介護用品支給事業 在宅のねたきり老人等で、おむつ使用者に対し紙おむつ引換券を給付し、快適な生活を確保する。 年4回の紙おむつ引換券を給付した。 申請：5月、7月、10月、1月	21,240	B	特になし。
〃	〃	高齢福祉課	③家族介護慰労事業 在宅のねたきり高齢者及び認知症高齢者の介護者の苦勞を慰謝激励し、在宅福祉の向上を図る。	600	③家族介護慰労事業 在宅のねたきり高齢者及び認知症高齢者の介護者の苦勞を慰謝激励し、在宅福祉の向上を図った。	400	B	特になし。
〃	〃	高齢福祉課	④「食」の自立事業 安否確認も兼ねて要援護高齢者に配食する。	7,051	④「食」の自立事業 安否確認も兼ねて要援護高齢者に配食した。	4,889	B	協力事業者の減少と物価高騰対策が課題。
〃	〃	高齢福祉課	⑤ねたきり高齢者等訪問理髪サービス 理美容師を派遣し、理美容サービスを実施する。 明確な基準の検討を行う。	80	⑤ねたきり高齢者等訪問理髪サービス 理美容師を派遣し、理美容サービスを実施した。 派遣回数：9回	18	B	特になし。
相談体制の充実	地域包括支援センターや障害者相談等の相談体制の充実を図ります。	障害福祉課	①障害者や家族を対象とした相談支援 障害者相談支援事業の実施 身体障害者相談員（11人） 知的障害者相談員（3人） 相談業務委託（機能強化事業）	35,488	①障害者や家族を対象とした相談支援 障害者相談支援事業の実施 身体障害者相談員（8人） 知的障害者相談員（3人） 相談業務委託（機能強化事業）	35,462	B	特になし。
〃	〃	高齢福祉課	①地域包括支援センターの運営強化 総合相談体制の充実を図る。	—	①地域包括支援センターの運営強化 関係機関や多職種との連携を図りながら相談に対応をした。	—	B	相談内容が複雑化している。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目6 みんながいそいそ暮らせる条件の整備

施策② 高齢者・障害者等が安心して暮らせる条件の整備

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
介護職等の人材育成の支援	介護職員等を対象とした研修会や研修生の受け入れ等により、人材育成の支援をします。	障害福祉課	①研修会の開催 総合支援協議会の研修部会において、福祉サービス事業所職員等を対象とした研修会を開催する。	20	①研修会の開催 コロナウイルス感染拡大の影響により、対面での研修は実施できなかった。オンラインでコロナウイルス感染拡大に対応するためのノウハウ等を学ぶ研修会を、外部の講師を呼ぶのではなく、事業所同士が情報共有する形式で行った。 2回開催し、延べ参加人数は24人。	0	B	特になし。
〃	〃	健康増進課	①研修生の受け入れ 保健・医療福祉職研修生の受け入れ、事業説明、見学、実施等の指導を行う。	-	①研修生の受け入れ 看護専門学生、看護師・助産師・保健師を目指す学生の実習を受け入れ、事業説明や実習指導を行った。	-	B	特になし
高齢者、障害者にやさしい環境づくりの推進	高齢者、障害者にやさしい環境づくりを推進します。	障害福祉課	①成年後見制度利用支援事業の実施 成年後見制度の利用が困難な重度障害者に対し、成年後見制度利用支援を行う。	1,439	①成年後見制度利用支援事業の実施 成年後見制度の利用が困難な重度障害者に対し、成年後見制度利用支援を行う。	730	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	②障害者虐待防止センターの設置 障害者虐待の通報窓口を設置し、障害者虐待の対応を行う。	25	②障害者虐待防止センターの設置 障害者虐待の通報窓口を設置し、障害者虐待の対応を行った。 通報件数：12件	26	B	特になし。
〃	〃	障害福祉課	③理解促進研修・啓発事業の実施 障害者・児への理解を深めるため、広報活動、市民対象の研修やイベント活動等を行う。	-	③理解促進研修・啓発事業の実施 成長段階に応じて、子どもの成長に不安を感じている場合や発達障害が疑われる子どもの保護者等に市役所の各関係窓口が相談業務を行い、必要に応じて、他課や学校、医療機関等を紹介したうえで、連携して継続的支援体制の充実を図った。 外見からは配慮や援助が必要だと分からない人のために、ヘルプマークの配布を継続実施。市広報、ホームページ、ラジオ、ポスター設置などで周知をし、幅広い市民の方々に知ってもらえるよう努めた。 ヘルプマーク配布件数：74件	-	B	特になし。
〃	〃	高齢福祉課	①成年後見制度利用支援事業 成年後見制度を啓発する。 成年後見制度利用を助成する。（高齢者）	4,424	①成年後見制度利用支援事業 成年後見制度を啓発した。 成年後見制度利用を助成した。（高齢者）	4,025	B	制度の周知を図る必要がある。
〃	〃	建築課	①公共施設の整備 令和3年度に改訂した「防府市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、修繕、居住性の向上、福祉対応、安全性を確保するための個別改善や建替えなどを実施していく。	101,900	①公共施設の整備 令和3年度に改訂した「防府市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、修繕・居住性の向上、福祉対応、安全性を確保するための個別改善を実施した。	101,288	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目6 みんながいきいき暮らせる条件の整備

施策③ ひとり親家庭等に対する支援

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
相談体制の充実	各種相談窓口の周知を図り、相談しやすい体制の充実に努めます。	子育て支援課	①子ども相談室の相談体制の整備（再掲：I-3-①） 保健師及び保育士、こども家庭相談員を配置し、児童虐待を含む家庭児童相談に応じる。 こども相談室の機能強化をするため、こども家庭相談総合拠点の整備を行う。	12,096	②子ども相談室の相談体制の整備（再掲：I-3-①） 保健師および社会福祉主事、こども家庭相談員（精神保健福祉士、社会福祉士、教員）を配置し、児童虐待を含む家庭児童相談に応じた。 （相談件数）実数441人	9,937	B	特になし。
就労支援の推進	関係機関と連携し、就労の支援を行います。	子育て支援課	①母子・父子自立支援員の設置（再掲：I-3-①） ひとり親家庭等を対象に自立に必要な情報提供、相談指導等を行うとともに、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行う。	3,341	③母子・父子自立支援員の設置（再掲：I-3-①） 窓口及び電話により、自立に向けての情報提供、相談指導を行った。 相談件数 1,273件	3,000	B	特になし。
〃	〃	商工振興課	①働きたい女性の就職支援（再掲：I-2-①） ライフステージの変化等により一旦は退職したものの、再就職し新たなキャリアを見つけたいと考える女性を対象とした学びなおしの場となるセミナーを開催する。 ハローワークや山口しごとセンターと連携した就職支援を行う。	3,500	①働きたい女性の就職支援（再掲：I-2-①） ライフステージの変化等により一旦は退職したものの、再就職し新たなキャリアを見つけたいと考える女性を対象とした学びなおしの場となるセミナーを開催する。 ハローワークや山口しごとセンターと連携した就職支援を行う。	3,498	B	相談者数を増やすために一層の周知が必要。
経済的支援制度の周知	各種支援制度の周知に努めます。	子育て支援課	①児童扶養手当 母子家庭及び父子家庭等に手当を支給する。	477,980	①児童扶養手当 児童扶養手当を支給した。 R5.3.31 受給者数 848人	413,559	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課	②ひとり親家庭医療費助成制度 母子家庭及び父子家庭対象に医療費の自己負担分を助成する。	61,424	②ひとり親家庭医療費助成制度 ひとり親家庭医療費の助成を行った。 R5.3.31 受給者数 1,191人	51,260	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課	③ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金 母子家庭又は父子家庭の親が教育訓練講座を受講する場合、経費の一部助成する。	400	③ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金 自立支援教育訓練給付金を支給した。 支給人数 1人	402	B	特になし。
経済的支援制度の周知	各種支援制度の周知に努めます。	子育て支援課	④ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金 母子家庭又は父子家庭の親が、資格取得のための養成機関で修業する場合、手当を支給する。	13,198	④ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金 高等職業訓練促進給付金を支給した。 支給人数 8人	7,976	B	特になし。

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目6 みんながいきいき暮らせる条件の整備

施策④ 子どもの安全確保と健全育成

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
子どもへの暴力・虐待の防止	子どもに対する暴力・虐待を防止するため、県や関係部署との連携強化を図ります。	子育て支援課	①要保護児童対策地域協議会の運営 代表者会議、実務者会議、ケース検討会議を定期的開催し、情報の共有と連携を図り、児童の安全を守る。	4,146	①要保護児童対策地域協議会の運営 代表者会議（1回）、実務者会議（1回）、個別ケース検討会議（46回）を児童の安全を守るために開催し、情報の共有と連携を図った。	3,660	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課	①養育支援訪問事業 特定妊婦や養育に不安のある保護者に子育てのスキルを教えることも家庭支援員を派遣。支援をすることも家庭支援員のレベルアップを図るための研修会を開催する。 事例検討やグループワークを取り入れ、支援レベルの向上を図る。	5,169	①養育支援訪問事業 特定妊婦や養育に不安のある保護者に子育てのスキルを教えることも家庭支援員を派遣し、支援を実施した。 派遣家庭数29件 訪問延べ件数（不在含む）464件 こども家庭支援員のレベルアップを図るための研修会を2回に開催し、事例検討を行い、支援レベルの向上を図った。	3,737	B	特になし。
〃	〃	健康増進課	①家庭訪問による保健指導 幼稚園、保育園、母子保健推進協議会など関係機関と連携し、育児不安のある母親や発達遅れのある乳幼児などに対して、保健師が家庭訪問をし、保健指導を行う。また、産後うつアンケートを保健師、助産師、及び母子保健推進員が実施し、精神的支援が必要なケースについて関係機関と連携し、関わる。	—	①家庭訪問による保健指導 産後うつの早期発見・予防、育児不安の軽減のために、妊産婦や乳幼児に対して保健師・助産師が家庭訪問を実施し、産後うつの早期発見・予防、育児不安の軽減に努めた。また、母子保健推進協議会や幼稚園・保育園等関係機関と連携を図り、子育て中の親子の支援を行った。	—	B	妊婦や子育て中の親の相談に早期に対応できるよう、引続き関係機関との連携を図る。
情報モラル教育の推進	SNS等の利用について、情報モラル教育を推進します。	学校教育課	①情報教育研修会の実施 小中学校の情報教育担当者対象の研修会を開催し、情報モラル教育等の具体的研修を実施する。	—	①情報教育研修会の実施 小中学校の情報教育担当者対象の研修会を開催し、情報モラル教育等の具体的研修（防府市小・中学校情報教育担当者研修会）を実施した。	—	B	特になし。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目7 男女の人権の尊重

施策① 人権を尊重する意識の普及啓発

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
広報・啓発の推進、学習会の支援	各種メディアを活用して広報、啓発に取り組むとともに、学習会の支援をします。	社会福祉課	①各種メディアの活用 市広報やホームページ等を活用し、研修会の案内や啓発活動に努める。 市広報、ホームページ以外の周知方法も検討する。	—	①各種メディアの活用 男女共同参画週間（6/23～6/29）、女性に対する暴力をなくす運動週間（11/12～11/25）を周知するため市広報へ掲載した。	—	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	②啓発ビデオ・DVD・図書等の貸出（再掲：Ⅱ-5-①） 啓発ビデオ・DVD・図書等の無料貸出を行う。 デートDV予防啓発講座で図書等の紹介をする。	—	②啓発ビデオ・DVD・図書等の貸出（再掲：Ⅱ-5-①） 令和4年度啓発用の図書や啓発用ビデオの貸出件数：0件	—	B	啓発図書や啓発ビデオの貸出がない。
〃	〃	生涯学習課	①人権啓発教材の購入と無償貸出 人権啓発教材（DVD等）を購入するとともに、地域、学校、企業等で開催される人権学習会へ無償で貸し出す。	100	①人権啓発教材の購入と無償貸出 人権啓発教材として、図書・DVDを購入した。 また、ビデオ・DVD貸出を行った。 購入数：図書 10冊、DVD 1本 貸出数：36本	79	B	人権啓発教材の貸出数の増加。
〃	〃	生涯学習課	②人権学習指導員の派遣 地域、学校、企業等で開催される人権学習会へ指導員を派遣する。	64	②人権学習指導員の派遣 地域、学校、企業等で開催される人権学習会に、人権学習指導員を派遣した。 派遣回数：44回 （令和3年度 41回）	0	A	人権学習指導員の派遣回数の増加。
各関係団体・関係機関と連携した啓発の推進	各関係団体、関係機関と学習に関する情報共有を図るとともに、連携して啓発を行います。	社会福祉課	①研修会の開催 防府市女性団体連絡協議会開催の研修について、周知を図る。	—	①研修会の開催 防府市女性団体連絡協議会研修会のチラシを作成し、各団体・関係部署に配布して周知を図った。	—	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	②防府市女性団体連絡協議会加入団体相互の情報交換 代表者会議において情報交換をし、各々の団体の意識の高揚を図る。	—	②防府市女性団体連絡協議会加入団体相互の情報交換 代表者会議を年3回開催し情報交換をし、各々の団体の意識の高揚を図る。	—	B	特になし。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目7 男女の人権の尊重

施策① 人権を尊重する意識の普及啓発

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
各関係団体・関係機関と連携した啓発の推進	各関係団体、関係機関と学習に関する情報共有を図るとともに、連携して啓発を行います。	社会福祉課	③人権擁護委員と連携した啓発活動の実施 6月：人権の「花」事業（華浦小・牟礼小）、 6月：街頭啓発（イオンタウン防府）	40	③人権擁護委員と連携した啓発活動の実施 6月に、華浦小、牟礼小で人権の花贈呈式、種まきを実施した。 6月に、イオンタウン防府で街頭啓発を実施した。	40	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	④関係機関が開催するイベント等への参加 生涯学習フェスティバルに男女共同参画コーナーを出展する。 実施内容 ・DVやデートDVに関するパネル(3枚)を掲示する。 ・ポケットティッシュ（DV相談窓口広告付）の配布する。 ・DV、デートDVパンフレットの配布する。 11月に子ども相談室と一緒に啓発活動を行う。	-	④関係機関が開催するイベント等への参加 生涯学習フェスティバルにて、DVやデートDVに関するパネル（3枚）を掲示した。DV相談窓口を周知するため、ポケットティッシュやリーフレット等を配布した。	-	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	⑤学習情報の提供・収集 関係機関や公民館等へ研修会等の情報提供をする。 研修会、啓発講座等の案内を配布する。	-	⑤学習情報の提供・収集 関係機関や公民館等へ研修会のチラシを作成し配布した。 各公民館に男女共同参画啓発講座のチラシやポスターを配布し、掲示してもらった。	-	B	特になし。
〃	〃	生涯学習課	①学習情報の提供 市民セミナー（年4回）や人権学習講演会等の開催情報を、防府市人権学習推進市民会議と連携して、各種メディアを活用し提供する。	50	①学習情報の提供 市民セミナー・人権学習講演会等の開催情報を、市広報、市ホームページへの掲載、公民館等へのちらし配布、報道資料配布等により提供した。 また、防府市人権学習推進市民会議と連携して、商工会議所会報誌へのチラシの折込みを実施した。	35	B	市民セミナー・人権学習講演会の参加者数の増加。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目7 男女の人権の尊重

施策② 人権に関する教育・学習の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
幼児期における人権教育の推進	生活や遊びを通して、人権を大切にすることを育む教育を推進します。	子育て支援課	①「人権を大切にすることを育てる」保育生活や遊びを通して、人に対する愛情や信頼感、男女平等の意識育成を図る。	—	①「人権を大切にすることを育てる」保育生活や遊びを通して、人に対する愛情や信頼感、男女平等の意識育成を図った。	—	B	特になし。
学校教育における人権教育の推進	発達段階に応じた人権教育を推進します。	学校教育課	①指導方法の研究 各学校の計画により研究、推進する。	—	①指導方法の研究 各学校の計画により研究、推進した。	—	B	特になし。
〃	〃	学校教育課	②実践資料の収集・事例紹介・研究要覧の作成 各学校における実践資料を蓄積する。	—	②実践資料の収集・事例紹介・研究要覧の作成 各学校における実践資料を蓄積した。	—	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	①「人権の花運動」の実施 花の種子などを育てることを通じて、協力、感謝することの大切さを生きた教育として学び、生命の尊さを実感する中で、人権尊重思想を育み、情操をより豊かなものにする。毎年2校、花の苗を配布する。（華浦小、牟礼小）	40	①「人権の花運動」の実施 花の種子などを育てることを通じて、協力、感謝することの大切さを生きた教育として学び、生命の尊さを実感する中で、人権尊重思想を育み、情操をより豊かなものにする。華浦小、牟礼小に花の苗を配布した。 子ども達が、花の苗をまき、水をやり、花を育て、その様子をアンケートとともに学校から報告があった。	40	B	特になし。
教育関係者等の資質・知識の向上	教育関係者等の人権に関する研修の充実を図ります。	学校教育課	①校長・教頭・各主任会での研修 指導方法の工夫改善研究や各研修部の計画の実施をする。	—	①校長・教頭・各主任会での研修 指導方法の工夫改善研究や各研修部の計画の実施をした。	—	B	特になし。
〃	〃	学校教育課	②人権教育主任研修会 人権教育担当者を中心に、人権教育の研修会を開催する。 各主任研修会を開催する。	—	②人権教育主任研修会 人権教育担当者を中心に、人権教育の研修会を開催した。 各主任研修会を開催した。 (研修参加人数) 7/8 28人 1/27 28人	—	B	特になし。
〃	〃	学校教育課	③新規採用・転入教職員等 人権教育研修会 教育方法の工夫改善研究及び教職員自身の人権意識の高揚を図る。	—	③新規採用・転入教職員等 人権教育研修会 教育方法の工夫改善研究及び教職員自身の人権意識の高揚を図った。 (研修参加人数) 8/8 63人 (令和3年度 28人)	—	A	特になし。
〃	〃	子育て支援課	①育児講座・研修会 育児講座や研修会を行う。	—	①育児講座・研修会 各保育園で育児講座や研修会を行った。	—	B	特になし。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目7 男女の人権の尊重

施策② 人権に関する教育・学習の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
保護者への人権に関する学習の充実	人権教育の授業参観や講演会・研修会等を開催し、保護者へ人権に関する学習する機会を提供します。	学校教育課	①保護者人権教育研修会 人権教育の授業参観及び講演会を各学校の計画に基づき実施する。	—	①保護者人権教育研修会 人権教育の授業参観及び講演会を各学校の計画に基づき実施した。	—	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課	①育児講座・研修会 育児講座や研修会を行う。	—	①育児講座・研修会 各保育所等で育児講座や研修会を行った。	—	B	特になし。
〃	〃	生涯学習課	①人権学習推進事業への助成 小・中学校PTA連合会が実施する人権教育推進事業を助成する。	436	①人権学習推進事業への助成 小・中学校PTA連合会が実施する人権教育推進事業について助成した。	436	B	市内各小・中学校での人権教育推進事業を支援する必要がある。
〃	〃	生涯学習課	②人権学習指導員の派遣 学校で開催される保護者への人権学習会へ指導員を派遣する。	—	②人権学習指導員の派遣 学校からの申請により、就学時の子育て学習会や人権講習会に、人権学習指導員を派遣した。 学校・幼保・PTAへの派遣回数：9回	—	B	学校への人権学習指導員の派遣回数の増加。
家庭、職場、地域における学習環境の整備・充実	講演会やセミナー等を開催するとともに、講師派遣など地域や職場における研修会等を支援し、学習環境の整備・充実を図ります。	社会福祉課	①各福祉センターの教養講座 ・教養講座を開設する。 ・開講式、閉講式で人権学習会を実施する。 前年度受講者やセンターだより配付による地域住民への募集案内を行う。	6,785	①各福祉センターの教養講座 ・教養講座を開設した。 毎年度、受講者やセンターだより配布による地域住民への募集案内を行った。	3,145	B	講師・受講者の高齢化に伴い、講座継続が困難になりつつある。
〃	〃	子育て支援課	①養育支援子ども家庭支援員のレベルアップ研修 支援員への研修を行う。 事例検討やグループワークを取り入れ、支援レベルの向上を図る。	30	①養育支援子ども家庭支援員のレベルアップ研修 子ども家庭支援員のレベルアップを図るための研修会を2回に開催し、2回目の研修会では、事例検討を行い、支援レベルの向上を図った。	12	B	特になし。
〃	〃	生涯学習課	①人権学習講演会・市民セミナー等の開催 市民を対象とした人権講演会や市民セミナー（年4回）を開催する。	708	①人権学習講演会・市民セミナー等の開催 防府市人権学習推進市民会議と連携し、人権学習講演会・市民セミナー（4回）を開催した。新型コロナウイルス感染症対策のため参加者を制限して実施した。 参加者数： 講演会 160人 セミナー（4回） 194人	785	B	参加者の増加。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目7 男女の人権の尊重

施策② 人権に関する教育・学習の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
家庭、職場、地域における学習環境の整備・充実	講演会やセミナー等を開催するとともに、講師派遣など地域や職場における研修会等を支援し、学習環境の整備・充実を図ります。	生涯学習課	②人権啓発教材の購入と無償貸出(再掲：Ⅲ-7-①) 人権啓発教材（DVD等）を購入するとともに、地域、企業等で開催される人権学習会へ無償で貸し出す。	100	②人権啓発教材の購入と無償貸出(再掲：Ⅲ-7-①) 人権啓発教材として、図書・DVDを購入した。また、ビデオ・DVD貸出を行った。 購入数：図書 10冊、DVD1本 貸出数：36本	79	B	人権啓発教材の貸出数の増加。
〃	〃	生涯学習課	③人権学習指導員の派遣(再掲：Ⅲ-7-①) 地域、企業等で開催される人権学習会へ指導員を派遣する。	64	③人権学習指導員の派遣(再掲：Ⅲ-7-①) 人権学習指導員を、地域、学校、企業等で開催される人権学習会に派遣した。 派遣回数：44回 (令和3年度 41回)	0	A	人権学習指導員の派遣回数の増加。
〃	〃	生涯学習課	④人権学習推進委員 地域や団体等から選出された人権学習推進委員に研修の充実を図る。	582	④人権学習推進委員 人権学習推進委員を対象とした研修は、新型コロナウイルス感染症の影響で、当初予定していた4回のうち3回しか開催できなかった。	287	B	人権学習推進員指導体制の充実。
〃	〃	生涯学習課	⑤ふれあい活動及び教養講座 集会所及び福祉センターで、手話講座や教養講座を開設する。	2,040	⑤ふれあい活動及び教養講座 集会所及び福祉センターで、手話講座や教養講座を開設した。 講座回数：294回 受講生人数：2,331人 新型コロナウイルスの影響で、講座を予定回数開催できなかった。	1,718	B	講座受講生の増加。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目7 男女の人権の尊重

施策③ メディアにおける人権の尊重

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
各種メディアへの要請と公的文書の表現の周知徹底	男女平等の視点から各種メディアへの表現の見直しの要請を行うとともに、公的文書の表現について周知徹底を図ります。	社会福祉課	①表現のチェック 市の刊行物等における人権に関する表現の見直しを行う。	—	①表現のチェック 市の刊行物等における人権に関する表現の見直しを行った。	—	B	特になし。
メディア・リテラシーの育成・向上	情報化の進展に伴い、新たな課題も生まれていることから、メディア・リテラシーの育成や向上に取り組みます。	学校教育課	①情報教育研修会の実施（再掲：Ⅱ-6-④） 小中学校の情報教育担当者対象の研修会を開催し、情報モラル教育等の具体的研修を実施する。	—	①情報教育研修会の実施（再掲：Ⅱ-6-④） 小中学校の情報教育担当者対象の研修会を開催し、情報モラル教育等の具体的研修（防府市小・中学校情報教育担当者研修会）を実施した。	—	B	特になし。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目8 男女共同参画の視点に立った意識の改革

施策① 社会制度・慣行の見直しの促進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
社会制度・慣行の見直しへの意識啓発	社会制度や慣行の見直しへの意識づくりのための広報、啓発を推進します。	社会福祉課	①男女共同参画啓発講座(再掲：Ⅰ-3-②) 男性の職場優先の意識やライフスタイルを見直すきっかけづくりとなる啓発講座を企画し、開催する。	51	①啓発講座の開催(再掲：Ⅰ-3-②) ・第1回「家事ラク講座」参加者15人 講師 整理収納アドバイザー 牧野 久美氏 ・第2回 明治安田生命相互保険会社 包括連携協定 「女性活躍セミナー」 講師 明治安田生命相互保険会社 徳山支社 チーフ・コンシェルジェ 重田 千佳子氏 参加者 28人 ・第3回「父と子の料理教室」参加者5組11人 講師 管理栄養士 生野 美輪氏 ・第4回「生涯学習フェスティバル」 パネル展示と啓発グッズの配布 ・第5回「父と子の料理教室」参加者4組9人 講師 管理栄養士 生野 美輪氏	23	B	「料理教室」だけでなく、男性の家庭参画を促進するための講座を検討する。
〃	〃	社会福祉課	②市広報等への掲載 講座や研修会等、男女共同参画に関する情報を掲載する。	—	②市広報等への掲載 男女共同参画啓発講座を市広報や市ホームページに掲載した。 さらなる周知を図るため、防府市メールサービスでの配信や子育て応援サイトでの配信も行った。	—	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	③事業所への啓発 商工振興課と連携を図りながら、啓発活動を行う。	—	③事業所への啓発 山口県男女共同参画課からの啓発パンフレットを商工振興課へも配布した。	—	B	特になし。
法律・制度の理解の促進	男女共同参画に関する法律・条例等について周知し、正しい知識の普及を図ります。	社会福祉課	①啓発ビデオ・DVD・図書等の無料貸出（再掲：Ⅲ-7-①） 啓発講座で図書等の紹介をする。	—	①啓発ビデオ・DVD・図書の貸出（再掲：Ⅱ-7-①） 令和4年度啓発用の図書や啓発用ビデオの貸出件数：0件	—	B	啓発図書や啓発ビデオの貸出希望がない。
〃	〃	社会福祉課	②ホームページへの情報掲載 男女共同参画条例や防府市男女共同参画推進計画（事業実績・計画）等を掲載する。	—	②ホームページへの情報掲載 男女共同参画条例や防府市男女共同参画推進計画（事業実績・計画）等を掲載した。	—	B	特になし。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目8 男女共同参画の視点に立った意識の改革

施策① 社会制度・慣行の見直しの促進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
地域リーダー等への研修の充実	地域において活躍している人等を対象に、男女共同参画に関する研修や情報の提供を行います。	社会福祉課	①情報提供 防府市女性団体連絡協議会の会員やNPOなど、地域で活躍している個人や団体に研修会等のチラシを配布する。	—	①情報提供 防府市女性団体連絡協議会の会員に男女共同参画に関する研修会のチラシを配布した。	—	B	特になし。
市職員への研修の充実	市職員の男女共同参画に関する意識向上を図るための研修を実施します。	人事課	①職員研修の実施 男女共同参画に関する知識及び意識向上を図るため、『人権研修（新規採用職員研修）』を実施。 受講者へのアンケート等により、研修成果、改善点を把握する。	—	①職員研修の実施 新規採用職員前期・中期課程研修にて令和4年度新規採用職員20人を対象に研修を実施。 人権教育の講義の中で周知を図った。	—	B	特になし。
〃	〃	人事課	②職員研修の実施（再掲：I-1-①） 男女ともに働きやすく活躍できる職場づくりのため、『働きやすい職場づくり研修』を実施し、職員の意識改革、スキルの向上を図る。 受講者へのアンケート等により、研修成果、改善点を把握する。	193	②研修の実施（再掲：I-1-①） 令和4年8月2日PM 課長級、課長補佐級職員25名を対象に研修を実施。	149	B	研修受講対象者（階層）に必要な研修内容となるよう、適宜見直す必要がある。
〃	〃	社会福祉課	①情報提供 県内で実施される研修について、情報提供をする。	—	①情報提供 県内で実施される市職員向けの研修が山口県男女共同参画課から紹介があれば、人事課へ情報提供をした。	—	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	②職員研修 新任及び昇任2年目の係長級職員を対象とした人権研修を実施する。	—	②職員研修 昨年開催できなかった新任及び2年目の課長級職員分も合わせて実施した。	—	B	特になし。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目8 男女共同参画の視点に立った意識の改革

施策② 男女共同参画を進める拠点の整備

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
男女共同参画に関する資料の充実	男女共同参画に関する図書、ビデオ等参考資料を整備し、貸し出し等を行います。	社会福祉課	①図書・参考資料の整備 貸出用図書を購入する。	3	①図書・参考資料の整備 令和4年度啓発用の図書を1冊購入した。タイトル：「愛を言い訳にする人たち～DV加害男性700人の告白」	3	B	啓発図書や啓発ビデオの貸出希望がない。
〃	〃	教育総務課	①図書館資料の収集、整理、保存、提供 ライフスタイルの多様化や人権意識の変容に対応した、女性の人権、ジェンダー、男女平等社会の構築、男女共同参画等に関する資料の収集、整理、保存、提供をする。 （事業主体：防府市立防府図書館（指定管理者＝防府市文化振興財団））	－	①図書館資料の収集、整理、保存、提供 ライフスタイルの多様化や人権意識の変容に対応した、女性の人権、ジェンダー、男女平等社会の構築、男女共同参画等に関する資料の収集、整理、保存、提供を行った。 （事業主体：防府市立防府図書館（指定管理者＝防府市文化振興財団））	－	B	男女共同参画に関する資料の更なる充実。
〃	〃	教育総務課	②特設コーナーの設置 県の男女共同参画月間（10月）に合わせ、利用者にとってより分かりやすく興味を引く特設コーナー「男女共同参画」を設置する。 （事業主体：防府市立防府図書館（指定管理者＝防府市文化振興財団））	－	②特設コーナーの設置 県の男女共同参画月間（10月）に合わせ、特設コーナー「男女共同参画社会～『あなたらしい』を築く、『あたらしい』社会へ～」を設置した。 （事業主体：防府市立防府図書館（指定管理者＝防府市文化振興財団））	－	B	特設コーナーの展示内容の更なる充実。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目8 男女共同参画の視点に立った意識の改革

施策③ 男性、子どもにとっての男女共同参画の推進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
男性の参画に向けた意識啓発	性別による固定的な役割分担意識の解消に向けた意識啓発を行います。	社会福祉課	①男女共同参画啓発講座(再掲：I-3-②) 男性の職場優先の意識やライフスタイルを見直すきっかけづくりとなる啓発講座を企画し、開催する。	51	①啓発講座の開催(再掲：I-3-②) ・第1回「家事ラク講座」参加者15人 講師 整理収納アドバイザー 牧野 久美氏 ・第2回 明治安田生命相互保険会社 包括連携協定 「女性活躍セミナー」 講師 明治安田生命相互保険会社 徳山支社 チーフ・コンシェルジェ 重田 千佳子氏 参加者 28人 ・第3回「父と子の料理教室」参加者5組11人 講師 管理栄養士 生野 美輪氏 ・第4回「生涯学習フェスティバル」 パネル展示と啓発グッズの配布 ・第5回「父と子の料理教室」参加者4組9人 講師 管理栄養士 生野 美輪氏	23	B	「料理教室」だけでなく、男性の家庭参画を促進するための講座を検討する。
〃	〃	子育て支援課	①固定的な性別役割分業意識の是正 乳児期から男女平等意識を育成するため、生活やあそびを通しての男女平等教育を進める。	—	①固定的な性別役割分業意識の是正 乳児期から男女平等意識を育成するため、生活やあそびを通しての男女平等教育を進める。	—	B	特になし。
〃	〃	学校教育課	①全教科領域において推進 防府市小中学校教育研究会における各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間研修部において意識啓発を図る。	—	①全教科領域において推進 防府市小中学校教育研究会における各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間研修部において意識啓発を図った。	—	B	特になし。
男性の家庭、地域参画に向けた支援	男性の育児・介護休業の取得や、労働時間の短縮や年次有給休暇の取得を促進します。	商工振興課	①国・県と連携した情報提供 パンフレット等を配布する。 企業向けの情報発信に注力する防府市中小企業サポートセンターを活用する。	—	①国・県と連携し情報提供を行った 企業向け情報発信に注力する防府市中小企業サポートセンターにおいて、パンフレット等を設置し情報提供を行った。	—	B	特になし。
〃	〃	人事課	①制度の周知 男性が育児・介護休業を取得しやすいよう制度の周知に努める。	—	①制度の周知 男性が育児・介護休業を取得しやすいよう所属・本人に向けた制度の周知に努めた。	—	B	男性の育児休業制度利用がまだ少ない。 所属の男性の育児休業取得の理解度を上げる必要がある。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目8 男女共同参画の視点に立った意識の改革

施策③ 男性、子どもにとっての男女共同参画の推進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
男性の家庭、地域参画に向けた支援	男性の育児・介護休業の取得や、労働時間の短縮や年次有給休暇の取得を促進します。	人事課	②年次有給休暇の取得の促進 健康取組の実施や文書通知などを通して、年休の取得促進を図る。	—	②年次有給休暇の取得の促進 健康取組の実施や文書通知などを通して、年休の取得促進を図った。	—	B	取得率は横ばいであり、さらなる周知が必要である。
〃	〃	人事課	③働き方の見直し 各所属で職員の働き方を見直し、ワーク・ライフ・バランスや男女ともに働きやすい職場の実現のため、「防府市職員の心身の健康増進に関する取組み」及び「職員の時差出勤勤務」を実施する。	—	③働き方の見直し 各所属で「防府市職員の心身の健康増進に関する取組み」及び「職員の時差出勤勤務」を実施した。 「職員の時差出勤勤務」については、要綱に定める勤務時間以外の勤務が業務の都合上、特に必要と認める場合に、勤務を命ずることができるように要綱を改正した。	—	A	要綱を改正したことにより、より柔軟に時差出勤勤務ができるようになった。
子どもの発達段階に応じた男女共同参画の理解の促進	子どもの発達段階に応じて、一人ひとりが自立と思いやりの意識を育む、教育の充実を図ります。	学校教育課	①全教科領域において推進 防府市小中学校教育研究会における各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間研修部において意識啓発を図る。	—	①全教科領域において推進 防府市小中学校教育研究会における各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間研修部において意識啓発を図った。	—	B	特になし。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目9 男女共同参画を推進する教育・学習の充実

施策① 男女平等を推進する教育・学習の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
幼児期における男女平等教育の推進	男女平等意識を育成するための教育を推進します。	子育て支援課	①固定的な性別役割分業意識の是正（再掲：Ⅲ-8-③） 乳児期から男女平等意識を育成するため、生活や遊びを通しての男女平等教育を進める。	—	①固定的な性別役割分業意識の是正（再掲：Ⅲ-8-③） 乳児期から男女平等意識を育成するため、生活や遊びを通しての男女平等教育を進める。	—	B	特になし。
〃	〃	子育て支援課	②育児講座や研修会の充実 効果的な育児講座や研修会を行い、保護者や保育士の意識を高める。	—	②育児講座や研修会の充実 効果的な育児講座や研修会を行い、保護者や保育士の意識を高める。	—	B	特になし。
学校等における男女平等教育の推進	校種間の連携を図り、発達段階に応じた男女平等の教育を推進します。	学校教育課	①全教科領域において推進（再掲：Ⅲ-8-③） 防府市小中学校教育研究会における各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間研修部において意識啓発を図る。	—	①全教科領域において推進（再掲：Ⅲ-8-③） 防府市小中学校教育研究会における各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間研修部において意識啓発を図った。	—	B	特になし。
〃	〃	社会福祉課	①情報の提供（再掲Ⅱ-4-①） 市内中学3年生及び高校3年生に「デートDVパンフレット」を配布し、啓発に努める。	29	①「デートDVパンフレット」の配布（再掲：Ⅱ-4-①） 市内中学3年生及び高校3年生に「デートDVパンフレット」を配布。 市内高校3年生に「デートDV相談カード」を配布した。 パンフレット配布先：市内中学校3年生、高校3年生全生徒 パンフレット配布部数：2,195部 デートDV相談カード配布先：市内高校3年生全生徒 デートDV相談カード配布部数：1,109枚	27	B	特になし。
地域における男女平等学習の推進	市民ニーズに対応した生涯学習の機会を提供します。	生涯学習課	①聞いて得するふるさと講座（出前講座）、ほうふ幸せます人材バンク利活用の促進 公民館、市内各学校、各関係機関等へPRする。	—	①聞いて得するふるさと講座（出前講座）、ほうふ幸せます人材バンク利活用の促進 FMわっしょいに出演する他、市ホームページや情報誌「まなほら」に掲載した。 作製した冊子は、公民館、市内各学校、各関係機関等へ配布し、PRを図った	—	B	内容を充実させる。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目9 男女共同参画を推進する教育・学習の充実

施策① 男女平等を推進する教育・学習の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
地域における男女平等学習の推進	市民ニーズに対応した生涯学習の機会を提供します。	社会福祉課	①男女共同参画啓発講座（再掲：Ⅰ-3-②） 男女共同参画社会形成の促進を図る講座を企画・運営する。（託児ルームを設置）	51	①啓発講座の開催(再掲：Ⅰ-3-②) ・第1回「家事ラク講座」参加者15人 講師 整理収納アドバイザー 牧野 久美氏 ・第2回 明治安田生命相互保険会社 包括連携協定 「女性活躍セミナー」 講師 明治安田生命相互保険会社 徳山支社 チーフ・コンシェルジェ 重田 千佳子氏 参加者 28人 ・第3回「父と子の料理教室」参加者5組11人 講師 管理栄養士 生野 美輪氏 ・第4回「生涯学習フェスティバル」 パネル展示と啓発グッズの配布 ・第5回「父と子の料理教室」参加者4組9人 講師 管理栄養士 生野 美輪氏	23	B	「料理教室」だけでなく、男性の家庭参画を促進するための講座を検討する。
指導者の資質・知識の向上	指導者への男女平等に関する研修の充実を図ります。	生涯学習課	①『ほうふ幸せます人材バンク「指導者バンク」、「支援者バンク」』登録者の研修の実施	50	①『ほうふ幸せます人材バンク「指導者バンク」、「支援者バンク」』登録者の研修の実施 人材バンク研修会を実施 実施日：令和5年2月1日（水） 参加者数：28人	7	B	周知の仕方や内容について検討が必要である。
〃	〃	学校教育課	①校長・教頭・各主任会での研修（再掲：Ⅲ-7-②） 指導方法の工夫改善研究や各研修部の計画の実施をする。	-	①校長・教頭・各主任会での研修（再掲：Ⅲ-7-②） 指導方法の工夫改善研究や各研修部の計画の実施をした。	-	B	特になし。
〃	〃	学校教育課	②人権教育主任研修会（再掲：Ⅲ-7-②） 人権教育担当者を中心に、人権教育の研修会を開催する。 各主任研修会を開催する。	-	②人権教育主任研修会（再掲：Ⅲ-7-②） 人権教育担当者を中心に、人権教育の研修会を開催した。 各主任研修会を開催した。 （研修参加人数） 7/8 28人 1/27 28人	-	B	特になし。
〃	〃	学校教育課	③新規採用・転入教職員等人権教育研修会（再掲：Ⅲ-7-②） 教育方法の工夫改善研究及び教職員自身の人権意識の高揚を図る。	-	③新規採用・転入教職員等人権教育研修会（再掲：Ⅲ-7-②） 教育方法の工夫改善研究及び教職員自身の人権意識の高揚を図った。 （研修参加人数） 8/8 63人	-	B	特になし。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目9 男女共同参画を推進する教育・学習の充実

施策② 多様な生き方を可能にする教育・学習機会の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
生涯学習推進体制の整備・充実	市民や各関係団体と協働して、生涯学習推進体制の整備、充実を図ります。	生涯学習課	①生涯学習推進会議での対応 第二次防府市生涯学習推進計画の進行管理と実施状況の点検と評価をする。	173	①生涯学習推進会議での対応 防府市生涯学習推進会議を開催し、第2次防府市生涯学習推進計画の実施状況、及び第3次防府市生涯学習推進計画の管理・点検等を行った。	70	B	内容を充実させる。
人材情報の収集と活用	ほうふ幸せます人材バンクに関する情報を収集し、その活用を促進します。	生涯学習課	①『ほうふ幸せます人材バンク「指導者バンク」』の運営及び活用 『ほうふ幸せます人材バンク「指導者バンク」』の充実及び活用を促進する。	369	①『ほうふ幸せます人材バンク「指導者バンク」』の運営及び活用 ほうふ幸せます人材バンク「指導者バンク」登録者をコーディネートし、講座を開催：194件	383	B	情報収集に努め、活用を促進する。
〃	〃	生涯学習課	②生涯学習サポートボランティア 生涯学習活動の企画・運営 生涯学習情報の収集及び提供をする。	2	②生涯学習サポートボランティア 生涯学習情報の収集及び提供をした。	2	B	新型コロナウイルスの影響により、一部活動を自粛していたが、人材を確保し、活用を促進していく必要がある。
学習の情報提供や相談体制の充実	学習の情報提供を行うとともに、生涯学習専門員を配置して、相談体制の充実を図ります。	生涯学習課	①生涯学習相談コーナーの充実 生涯学習相談コーナーに、図書、ビデオやDVDを配置する。 また、「まなぼらさぼーと」（生涯学習課・社会福祉協議会・市民活動支援センターによる協働情報紙）の定期的な発行による生涯学習情報の提供をする。	—	①生涯学習相談コーナーの充実 生涯学習相談コーナーに、図書、ビデオやDVDを配置した。 また、「まなぼら」（生涯学習課・社会福祉協議会・市民活動支援センターによる協働情報紙）の定期的な発行による生涯学習情報を提供した。（年4回発行）	—	B	内容を充実させる。
〃	〃	生涯学習課	②生涯学習専門員の配置 専門員配置による学習相談、情報収集及び提供をする。	2,343	②生涯学習専門員の配置 学習相談・講師紹介・生涯学習情報の提供等：821件	—	B	情報収集及び内容の充実に努める。
〃	〃	生涯学習課	③各種団体との連携 小中PTA連合会への情報提供をする。	—	③各種団体との連携 小中PTA連合会への情報提供をした。	—	B	情報提供機会の充実に努める。
〃	〃	生涯学習課	④生涯学習サポートボランティア 生涯学習活動の企画・運営をする。 生涯学習情報の収集及び提供をする。 サポートボランティアを活用した生涯学習関連イベントの開催やPRを行う。	2	④生涯学習サポートボランティア 生涯学習情報の収集及び提供をした。 サポートボランティアを活用した生涯学習関連イベントの開催やPRを行った。	2	B	人材を確保し、活用を促進する。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目9 男女共同参画を推進する教育・学習の充実

施策② 多様な生き方を可能にする教育・学習機会の充実

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
学校施設の有効活用	学校施設を開放し地域住民の参画や子どもが活動できる場を提供します。	教育総務課	①学校・地域連携施設整備事業 学校施設及び地域開放施設（小野小学校・牟礼小学校・佐波小学校・大道小学校・桑山中学校・右田中学校・華西中学校）の施設開放を実施する。目的は、市民の利用により社会体育及び社会教育の普及振興のため。	—	①学校・地域連携施設整備事業 学校施設及び地域開放施設（小野小学校・牟礼小学校・佐波小学校・大道小学校・桑山中学校・右田中学校・華西中学校）の施設開放の実施。	—	B	特になし。
//	//	教育総務課	②学校施設開放事業 小・中学校で学校体育施設の地域開放を実施する。	1,692	②学校施設開放事業 小・中学校で学校体育施設の地域開放の実施。	1,453	B	特になし。
学校施設の有効活用	学校施設を開放し地域住民の参画や子どもが活動できる場を提供します。	生涯学習課	①放課後子ども教室の実施 放課後や週末に、安全・安心な子どもたちの活動拠点となる居場所を設け、地域住民の参画を得て、子どもたちの学習やスポーツ・文化活動等の取組を実施する。（14校）	7,391	①放課後子ども教室の実施 新型コロナウイルス感染症感染防止対策を行ったうえで実施し、昨年度から大きく開催回数を増やすことができた。 市内13小学校区で放課後子ども教室を実施 各教室年間10日～30日程度で学習活動と体験活動を中心に実施 市内放課後子ども教室への参加児童数（約5,000人）	3,568	B	コーディネーター等の人材を育成し、内容を充実させる。
大学等と連携した学習活動の推進	大学等と連携して、専門性のある学習を推進します。	生涯学習課	①地元大学との連携 山口大学公開講座の開催支援、山口大学地域未来創生センターとの連携	—	①地元大学との連携 山口大学公開講座（2回） 「フランス革命～近代国家の幕開け」 参加者数（延べ26人）	—	B	内容を充実させる。
//	//	生涯学習課	②放送大学のPR 放送大学案内資料等の広報	—	②放送大学のPR 市広報掲載（1回） 学生募集の資料等を関係機関に配布（2回）	—	B	内容を充実させる。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目10 国際交流と国際協力を通じた男女共同参画の促進

施策① 国際理解と交流・協力の促進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
国際理解の促進と国際感覚を備える人材づくりのための学習環境の整備・充実	国際理解を促進し、人種、言語、文化、生活習慣の違いを認め、国際的な視野、感覚を備えた人材の育成のため、学習環境の整備・充実を図ります。	地域振興課	①民間団体交流活動の支援 姉妹都市との交流の発展を図るため、市民や民間団体の交流事業を支援する。	1,200	①民間団体交流活動の支援 姉妹都市との交流や文化への理解を深めるため、民間団体が主催した日韓親善文化交流芸術展及び交流30周年記念舞踊公演を支援した。	1,000	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種事業の開催が3年にわたり中止となっており、事業の再開に当たっては、関係団体と事業の見直しも含めた協議が必要となる。
〃	〃	地域振興課	②春の国際交流フォーラム 防府市の国際交流活動の概況を市民に知らせるとともに、市民と在住外国人の国際交流に対する理解を深め、様々な交流活動への積極的な参加の機会を提供する。 (防府市国際交流団体連絡協議会主催) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止	105	②春の国際交流フォーラム 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	
〃	〃	地域振興課	③出前講座 市民の国際理解、国際協調に対する意識の醸成を図る。	—	③出前講座 要請がなく、開催しなかった。	—	D	
〃	〃	地域振興課	④防府市国際交流団体連絡協議会加入団体への情報提供・支援 加入団体への情報提供を継続して行い、団体の発展を支援する。	—	④防府市国際交流団体連絡協議会加入団体への情報提供・支援 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため加入団体の活動も停滞しているが、必要に応じて団体への情報提供を行った。	—	C	
〃	〃	地域振興課	⑤国際交流事業参加者への事前研修 被派遣者が安心して交流活動に臨めるよう研修内容の充実を図る。	—	⑤国際交流事業参加者への事前研修 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	
〃	〃	学校教育課	①外国語活動事業 英語指導助手を小中学校へ派遣し、外国語教育の充実を図る。		①外国語活動事業 英語指導助手（JETプログラム：10名）を小中学校へ派遣し、外国語教育の充実を図った。		B	特になし。
〃	〃	学校教育課	②外国語活動事業 外国語指導助手を小・中学校へ派遣し、国際理解教育（外国語活動）の推進、充実を図る。（小学校中学年各学級15時間、高学年各学級25時間・中学校各学級30時間派遣） 県と連携した新たな外国語活動教材の効果的な活用の在り方を紹介する。	61,979	②外国語活動事業 外国語指導助手を小・中学校へ派遣し、国際理解教育（外国語活動）の推進、充実を図った。（10名体制） 県と連携した新たな外国語活動教材の効果的な活用の在り方を紹介した。	49,335	B	特になし。
〃	〃	学校教育課	③外国語活動事業 外国語指導助手1名を富海小・中学校へ配置し、国際理解教育（外国語活動）の推進、充実を図る。		③外国語活動事業 外国語指導助手1名を富海小・中学校へ配置し、国際理解教育（外国語活動）の推進、充実を図った。	595	B	特になし。

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目10 国際交流と国際協力を通じた男女共同参画の促進

施策① 国際理解と交流・協力の促進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
国際協力活動の促進	ホームステイ・ホームビジット制度や国際交流ボランティアの充実を図り、国際協力活動を促進します。	地域振興課	①国際交流ボランティアバンク登録 ホームステイやホームビジットの引受ホストファミリーや通訳の登録制度を活用 市広報・インターネットにより募集する。	—	①国際交流ボランティアバンク登録 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、積極的な広報等は控えた。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種事業の開催が3年にわたり中止となっており、事業の再開に当たっては、関係団体と事業の見直しも含めた協議が必要となる。
〃	〃	地域振興課	②防府市国際交流団体連絡協議会加入団体への情報提供 加入団体への情報提供を継続して行い、団体の発展を支援する。	—	②防府市国際交流団体連絡協議会加入団体への情報提供 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため加入団体の活動も停滞しているが、必要に応じて団体への情報提供を行った。	—	C	
国際姉妹都市交流事業の推進	国際的な視野と感覚を備えた人材の育成を図るため、国際姉妹都市との交流事業を推進します。	地域振興課	①防府市青少年語学研修派遣事業 市内在住の高校生をモンロー市に派遣し、ホームステイを通して語学研修と外国に対する理解を深め、幅広い国際的視野と高い市民意識を持つ人材を育成する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止。	1,590	①防府市青少年語学研修派遣事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	
〃	〃	地域振興課	②姉妹都市交流事業 モンロー市から高校生を迎えホームステイ等で日本生活の体験、また、施設等の見学、高校生との交流を通して日本の文化や歴史、防府のことについて学んでもらう。 姉妹都市と交流事業を行う民間団体に対して支援を行う。	410	②姉妹都市交流事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	
国際姉妹都市交流事業の推進	国際的な視野と感覚を備えた人材の育成を図るため、国際姉妹都市との交流事業を推進します。	地域振興課	③姉妹都市の情報の収集・提供 姉妹都市について、市民への情報提供を継続して行う。	—	③姉妹都市の情報の収集・提供 市役所庁舎に設置している姉妹都市紹介コーナーをリニューアルした。 また、民間団体が主催した日韓親善文化交流芸術展及び交流30周年記念舞踊公演を支援した。	—	B	

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目10 国際交流と国際協力を通じた男女共同参画の促進

施策① 国際理解と交流・協力の促進

事業評価 A：概ね計画通り進み、前年を上回る成果があった B：概ね計画通り達成した C：当初計画より少し下回るが、ある程度進んでいる D：計画より大幅に遅れている

事業	事業の説明	担当課	令和4年度 事業計画	予算額（千円）	令和4年度 事業実績	執行額（千円）	事業評価	課題
在住外国人との交流の促進	在住外国人との交流を図り、地域社会への参画を促進します。	地域振興課	①国際交流フェスティバル 防府市国際交流団体連絡協議会の主催事業として、市民及び在住外国人に国際交流活動に対する周知を図り、交流の場への積極的参加を推進する。	386	①国際交流フェスティバル 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種事業の開催が3年にわたり中止となっており、事業の再開に当たっては、関係団体と事業の見直しも含めた協議が必要となる。
//	//	地域振興課	②野島地域運動会 山口短期大学留学生と地域住民との交流を図る。	-	②野島地域運動会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	
//	//	地域振興課	③在住外国人支援事業 市内在住外国人に外国人同士の情報交換や、市民と交流する場を提供し、国際理解の推進を図るとともに、外国人にとって住みよいまちづくりを推進する。 (防府市国際交流団体連絡協議会主催) 国際交流サロン等の在住外国人支援事業の充実を図る。	509	③在住外国人支援事業 防府市国際交流団体連絡協議会が主催する国際交流サロン等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。 市内に在住、在勤、在学している外国人向けの日本語教室を設置した（運営をNPO法人に委託）。	500	B	

第5次防府市男女共同参画推進計画の指標

重点項目	項目		算出方法	担当課	調査値		現状値 (R4)	目標値		
						年(度)			年(度)	
1	男女の平等感 (平等と感じる人の割合)	・政治経済活動の中で	男女共同参画に関する 市民意識調査	社会福祉課	20.6%	H28	12.9%	23.0%	R4	
	審議会等の女性委員の割合			社会福祉課	28.9%	H29	30.1%	35.0%	R4	
	女性委員のいない審議会等数			社会福祉課	9	H29	7	0	R4	
	市職員の管理職に占める女性の割合			各主管部署で調査・算出	人事課	8.8%	H29	18.0%	15.0%	R4
	消防本部における女性消防吏員の割合				消防本部	2.1%	H29	3.5%	4.0%	R4
2	男女の平等感 (平等と感じる人の割合)	・就職の機会や職場の中で	男女共同参画に関する 市民意識調査	社会福祉課	24.9%	H28	27.2%	27.0%	R4	
	「ほうふ女性しごと応援テラス」相談の就職決定数		各主管部署で調査・算出	商工振興課	-	-	-	50人	R4	
	「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」に基づく認定累計数			商工振興課	-	-	95社	200社	R4	
	家族経営協定文書締結累計数(農家)			農林水産振興課	13件	H28	14件	18件	R4	
男女の平等感 (平等と感じる人の割合)		・家庭生活の中で		社会福祉課	36.3%	H28	38.6%	38.0%	R4	
3			男女共同参画に関する 市民意識調査	社会福祉課	44.4%	H28	40.6%	47.0%	R4	
	一時保育事業利用者数			各主管部署で調査・算出	子育て支援課	3,802人	H28	2,268人	3,600人	R4
	留守家庭児童学級利用者数				子育て支援課	1,013人	H28	1,204人	1,110人	R4
	ファミリーサポート利用件数				子育て支援課	2,140件	H28	1,154件	2,500件	R4
	「安心して子どもを育てられる支援や保育サービスが充実している」と思う市民の割合				市民満足度指標 (第四次防府市総合計画)	政策推進課	48%	H26	52.0%	65.0%
4	各種がん検診の 受診者数	・乳がん	各主管部署で調査・算出	健康増進課	2,079人	H28	1,770人	2,200人	R4	
		・子宮がん		健康増進課	3,603人	H28	3,455人	3,750人	R4	
	ゲートキーパーの養成講座受講者数			健康増進課	506人	H28	1,362人	700人	R4	
5	夫婦間の暴力の認識 (次の行為がDVにあたる と思う人の割合)	・電話やメールを細かく監視する	男女共同参画に関する 市民意識調査	社会福祉課	48.7%	H28	62.4%	60.0%	R4	
		・長時間無視し続ける		社会福祉課	42.4%	H28	56.4%	50.0%	R4	
		・大声でどなる		社会福祉課	50.6%	H28	68.1%	55.0%	R4	
	DV被害経験者で『どこ(誰)にも相談しなかった』と回答する人の割合			社会福祉課	55.7%	H28	58.4%	50.0%	R4	
	市社会福祉課の相談窓口の認知度(知っている人の割合)			社会福祉課	30.5%	H28	27.3%	50.0%	R4	

第5次防府市男女共同参画推進計画の指標

重点項目	項目	算出方法	担当課	調査値		現状値 (R4)	目標値	
					年(度)			年(度)
6	認知症サポーター数	各主管部署で調査・算出	高齢福祉課	4,284人	H28	6,449人	8,000人	R4
	地域包括支援センター相談件数		高齢福祉課	38,174件	H28	34,658件	42,500件	R4
	母子・父子自立支援員相談件数		子育て支援課	777件	H28	1,273件	800件	R4
	養育支援の延べ人数		子育て支援課	574人	H28	464人	700人	R4
	「高齢者が安心して暮らせる支援や介護サービスが充実している」と思う市民の割合	市民満足度指標 (第四次防府市総合計画)	政策推進課	48.0%	H26	50.0%	60.0%	R4
	「障害者に配慮したバリアフリーの施設が整っている」と思う市民の割合		政策推進課	39.0%	H26	36.0%	50.0%	R4
7	男女の平等感 (平等と感じる人の割合)	男女共同参画に関する 市民意識調査	社会福祉課	19.5%	H28	14.8%	25.0%	R4
			社会福祉課	56.4%	H28	58.4%	59.0%	R4
	「男女共同参画社会」という用語の認知度		社会福祉課	64.5%	H28	29.4%	69.0%	R4
8	男女の平等感 (平等と感じる人の割合)	男女共同参画に関する 市民意識調査	社会福祉課	39.7%	H28	30.0%	41.0%	R4
			社会福祉課	13.0%	H28	13.9%	19.0%	R4
	性別による固定的な役割分担意識の改革 (「男性は仕事、女性は家庭」という考えを肯定する人の割合)		社会福祉課	39.3%	H28	27.9%	31.0%	R4
	市の男性職員の育児休業取得率	育児休業取得者数/配偶者が出産した男性職員	人事課	1.51%	H28	13.27%	13.0%	R4
9	『ほうふ幸せます人材バンク「指導者バンク」』登録者の派遣回数	各主管部署で調査・算出	生涯学習課	69件	H28	194件	100件	R4
	生涯学習課		14か所	H28	13か所	15か所	R4	
	「生涯を通じて、いつでも、どこでも学べる環境が整っている」と思う市民の割合	市民満足度指標 (第四次防府市総合計画)	政策推進課	46.0%	H26	43.0%	60.0%	R4
10	「国際交流が進み外国(人)への理解が深まっている」と思う市民の割合	市民満足度指標 (第四次防府市総合計画)	政策推進課	25.0%	H26	29.0%	35.0%	R4